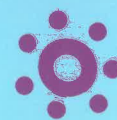


みんなのロータリー、みんなでロータリー  
さあ！奉仕に出かけよう

クラブの環境に関する奉仕活動事例集



# 目 次

発刊に寄せて	2	■ 第四分区B	49
委員会委員長あいさつ	3	館林ロータリークラブ	51
■ 第一分区	5	大泉ロータリークラブ	52
前橋ロータリークラブ	7	館林西ロータリークラブ	53
前橋西ロータリークラブ	9	館林東ロータリークラブ	54
前橋東ロータリークラブ	10	館林ミレニアムロータリークラブ	55
前橋南ロータリークラブ	11	■ 第五分区	57
前橋中央ロータリークラブ	12	渋川ロータリークラブ	59
■ 第二分区A	13	沼田ロータリークラブ	60
桐生ロータリークラブ	15	中之条ロータリークラブ	61
桐生南ロータリークラブ	16	沼田中央ロータリークラブ	64
桐生西ロータリークラブ	18	渋川みどりロータリークラブ	65
桐生赤城ロータリークラブ	21	第5分区合同事業	66
■ 第二分区B	23	■ 第六分区	67
群馬境ロータリークラブ	25	富岡ロータリークラブ	69
伊勢崎南ロータリークラブ	26	藤岡ロータリークラブ	70
伊勢崎東ロータリークラブ	27	安中ロータリークラブ	71
第2分区B合同事業	29	藤岡北ロータリークラブ	72
■ 第三分区	31	富岡中央ロータリークラブ	73
高崎南ロータリークラブ	33	碓氷安中ロータリークラブ	74
高崎北ロータリークラブ	34	藤岡南ロータリークラブ	75
高崎シンフォニーロータリークラブ	35	富岡かぶらロータリークラブ	77
高崎セントラルロータリークラブ	37	藤岡3ロータリークラブ合同事業	78
第3分区合同事業	38	編集を終えて	79
■ 第四分区A	41		
太田ロータリークラブ	43		
太田西ロータリークラブ	44		
太田南ロータリークラブ	45		
新田ロータリークラブ	46		
太田中央ロータリークラブ	47		

# 環境奉仕活動事例集発刊によせて



国際ロータリー第2840地区  
2022-2023年度  
ガバナー 中野 正美

ロータリー財団はグローバル補助金の支援する7番目の重点分野に「環境」を加えました。その序文に「天然資源の保護と保存を強化し、環境の持続可能性を促進し、さらに人々と環境の間の調和を育成する活動を支援します」とあります。

日頃から私たちロータリークラブ会員は地域社会への奉仕活動としてゴミ拾いや清掃活動、植樹活動など環境を意識した活動を行っています。しかし敢えてIMのテーマとして「環境問題」を取り上げさせていただいたところ、私にとっては思わぬ展開になって、ロータリークラブの会員の中に如何に環境に関する仕事に携わっていらっしゃる方が多いか、また直接関係なくても如何にCO2削減が出来るだろうか、などを職場で実践していらっしゃる方がいることを、再発見させていただきました。それぞれに素晴らしいIMを開催していただきました。ここに改めてお礼を申し上げます。あるパネリストが言っていました。「ゴミをまたぐ人より、ゴミを拾う人になる」この言葉は胸に沁みました。ゴミになるものを捨てる人は言語道断です。ゴミを拾う際には感染症には十分注意していただき、大いに実行してください。

この度 記念事業の一つ、事例集を作成することもそのような気づき発見を記録にとどめることが出来ればと考え実行させていただきました。やはり清掃活動が多かったのですが、そもそも海洋汚染問題の多くは陸のゴミが河川を通過して、あるいは風に飛ばされて海に運ばれたものがほとんどです。当たり前ですが陸地のゴミが減れば海洋ゴミは減ります。いま生態系に影響を及ぼすだろうと問題になっているマイクロプラスチックの47%はレジ袋だとしている論文もあるくらいです。

これからも各クラブの皆様が会員にとどまらず、ご家族、職場の方々などを巻き込んだ奉仕活動が継続して行われることを願っています。

この事例集をまとめるにあたって原稿や写真などを投稿していただいたロータリー会員の皆様に感謝します。そしてご多忙のところ丁寧にまとめて頂きました職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会石渡啓介委員長はじめ委員の皆様、ご指導いただきました本田博己パストガバナーに感謝申し上げます。

## 委員会委員長あいさつ

2022-2023年度  
職業奉仕・国際奉仕・  
地域社会奉仕委員会  
委員長 石渡 啓介



本年度地区大会の記念事業として、各クラブが取り組んでいる環境に関する奉仕活動を取りまとめた事例集を発行することとなり、職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会において、その編集作業を担当させていただきました。各クラブにおかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、ご多忙の中貴重な原稿をご寄稿いただきましたこと、厚く感謝申し上げます。また、編集作業にあたっては、本田博己パストガバナーから多くのご助言をいただきました。ありがとうございました。

さて、各クラブの奉仕活動を拝見しましたが、地域の清掃作業、施設のメンテナンス、植栽・植樹、環境問題の調査、啓蒙活動等々、非常に多岐にわたった活動をなされていることがわかりました。また、令和5年2月23日のロータリーデーに実施された活動もたくさんご報告いただきました。各クラブの奉仕活動は一つとして同じものはありません。各クラブの実情を踏まえて、長期間に渡って継続されていたり、地域住民と一体となって活動されていたりと、それぞれ工夫されて活動されていたことがわかり、大きな感銘を受けました。それぞれの活動は、地域の環境のみならず地球の環境を守っていく上で欠かせないものとなっており、これまでロータリアンが積み重ねてきた偉大な成果を再認識いたしました。また、小中学生を対象とした活動、ロータアクトクラブ、インターアクトクラブと連携した活動等、次世代にも繋がる活動も多数報告されており、非常に心強い思いを抱きました。

このような他クラブの活動を見ていただくことで、会員それぞれ、いろいろな「気づき」があるかと思えます。本事例集が、より充実した環境問題に関する奉仕活動の実現に繋がることとなれば幸いです。



# 第一分区

前橋ロータリークラブ  
前橋西ロータリークラブ  
前橋東ロータリークラブ  
前橋北ロータリークラブ  
前橋南ロータリークラブ  
前橋中央ロータリークラブ



## 前橋ロータリークラブ

# 皇太子殿下の結婚を記念して鶴舞う形の群馬県をかたどった「さちの池」をきれいにしよう

### プロジェクト

早朝清掃例会

### 目的

さちの池を中心に市民の憩いの場として多くの方々に親しまれている公園をいつまでもきれいにしよう。

**対象** 前橋ロータリークラブ

**参加者** 40名

**費用** 無し

**実施時期** 2022年5月10日（火）



### 活動内容

前橋市公園管理事務所の協力のもと、前橋ロータリークラブ会員40人が朝6時20分に集合し、地域社会奉仕委員会前田修委員長の挨拶、前橋市役所公園管理事務所狩野所長の挨拶を頂戴し、ラジオ体操を実施したのち各自前橋公園内全域を清掃しました。

一般ごみはそれほどなく、特に落ち葉等の清掃が中心となりました。



### 活動の成果

約30年前からの活動が毎年恒例の事業となっている早朝清掃例会です。

この場所は特に桜の花が咲くころに市民の憩いの場となっており、その時に出るゴミが見えないところに落ちているものです。よって雨、風で隠れてしまったごみを中心に清掃活動を実施していることで、きれいな市民の憩いの場として維持されています。



## 前橋ロータリークラブ

# ばら園に新しいエリアができ、地域資産の環境を整え価値を向上

### プロジェクト

ばら園パワーアップ支援プロジェクト

### 目的

香るバラを植樹したエリアを、高齢者や車いすでも鑑賞しやすいように園路を整備し環境を整えた。

**対象** 前橋ロータリークラブ

**参加者** 40名

**費用** 地区補助金 約660,000円  
クラブ拠出金 約110,000円

### 実施時期

2020年9月26日～2020年11月18日



### 活動内容

施設は、前橋市公園管理事務所の協力のもと、前橋ロータリークラブと国際ロータリークラブ2840地区（群馬県）の補助を受けて“ばら園パワーアッププロジェクト”と題し、2年にわたり整備してまいりました。全国でも有数のばら園のコンテンツの向上の為に、香りの高いバラを集めたエリアを作りました。車いす使用者や高齢者、目の不自由なかたも楽しめるように、エリア内の舗装もおこない、たくさんの方が香りを楽しめるように工夫しました。当日は、福祉施設の方もご招待して実際にバラを楽しんで頂きました。



### 活動の成果

香りをテーマにしたエリアを作ることで、目で見るだけでなく嗅覚でもバラを鑑賞できるのは新たな経験で、350,000人の市民および敷島公園利用者が恩恵を受けました。

## 前橋西ロータリークラブ

# 前橋市のシンボル、ケヤキ並木の清掃活動

### プロジェクト

前橋ケヤキ並木クリーン大作戦

### 目的

我が街自慢のケヤキ並木を守るための落ち葉拾い。

### 対象（受益者）

前橋市民

### 参加者

前橋西ロータリークラブ 30名

### 費用

クラブ拠出金 約50,000円

### 実施時期

2021年11月21日・28日

### 活動内容

県都前橋市のシンボルである、ケヤキ並木の景観を守るため、当クラブでは、落ち葉の季節である11月に2日間にわたり『前橋ケヤキ並木クリーン大作戦』と題して、クラブメンバー総出で、大規模な落ち葉拾いを実施しました。

場所は、銀行などのビルが立ち並ぶ群馬県庁前の国道50号線沿いの道路です。約1時間ほどで、ゴミ袋20個以上がいっぱいになりました。このケヤキ並木の歴史は古く、定かではありませんが、太平洋戦争の戦後に、電線の地中化に合わせて植え替えられたそうです。

日曜日の早朝ではありましたが、近所の市民の散歩の人達にもお声がけをいただき、環境問題に対するロータリークラブの奉仕活動をアピールすることにも繋がり、参加者一同、有意義な汗を流せたことに、喜びを実感いたしました。



### 活動の成果

- ①ケヤキ並木から大量に落ちる落葉を徹底的に拾い集めることで、美しい街の景観を守れる。
- ②県都前橋のメイン通りで、早朝より奉仕活動を行うことで、市民の目にもとまり、ロータリー活動の広報に貢献できた。



## 前橋東ロータリークラブ

# 前橋公園に心を込めて、早朝清掃&植樹！

### プロジェクト

前橋市公園整備事業

### 目的

公園内の景観を保つ、多年草の植樹と清掃作業。

### 対象

前橋東ロータリークラブ

### 活動参加者

クラブ会員18名・会員事業所(大栄産業)従業員25名 計43名

### 費用

46,200円

### 実施時期

2023年2月23日(木)  
ロータリーデー

ナ禍の影響により規模を縮小して実施しております。

今後もみんなで協力し活動を行っていきたくと考えています。



### 活動の成果

一人の力は小さいが、みんなの力が集まったことにより公園内がとても綺麗になりました。誰かのためにできることがあることは嬉しいことです。

また、月桂樹に託す願いは平和と友愛の象徴として、この先何世代の人々を見守り大きく育ててほしいということです。改めてロータリアンの意識を高めることができました。



## 前橋公園に月桂樹植樹

**前橋** 前橋東ロータリークラブ(川嶋潤会長)はロータリーデーの23日、前橋市の楽歩堂前橋公園で清掃と植樹に取り組んだ。会員や会員企業の従業員ら約100人が参加した。

早朝からほうきやごみ袋を片手に約1時間かけ園内を清掃。園東側に月桂樹1本を植えた=写真。川嶋会長は



「ロータリーの社会貢献活動を知ってもらいきっかけになればいい」と話している。1935年、ロータリー創設者のポール・ハリスが来日した際、帝国ホテル(東京)敷地内に月桂樹を植樹したことにちなみ、国内ロータリークラブの多くが植樹に月桂樹を活用している。(湯沢宏志)

### 活動内容

ロータリーデーの2月23日、早朝より前橋市楽歩堂前橋公園で清掃と植樹に取り組みました。

1935年ロータリー創設者のポール・ハリスが来日した際、帝国ホテル(東京)敷地内に月桂樹を植樹したことにちなみ国内ロータリークラブの多くが植樹に月桂樹を活用しています。今回の当クラブの植樹も月桂樹の苗木にしました。今後大きく育っていけるよう見守っていきたくと思います。

清掃に関しては本来、年二回の春・秋に約100人規模で実施しておりますが、近年はコロ

## 前橋南ロータリークラブ

## 前橋公園をひまわりの名所に

## プロジェクト

ひまわりロードプロジェクト

## 目的

前橋公園の歩道脇にミニひまわりを植えることで、今後の緑化活動推進の端緒とします。

## 対象（受益者）

前橋市民

## 参加者

40名

## 費用

100,000円

## 実施時期

2022年8月10日



## 活動内容

前橋公園の南側は、日当たりも悪く、やや殺風景で、人通りも少ない状況でした。

そこで、インターアクトクラブと協働して、前橋公園南の歩道に、高さ約50センチメートルのミニひまわりの苗を約100本植えました。

この事業を手始めとして、同所周辺の広域的環境整備を計画しており、さちの池南側湿地をひまわり畑にする事業、歩道脇に環境植物サンパチェンスを植栽する事業、ほたるの呼び戻し事業が予定されています。これらの事業の実施に当たっては、今後も継続的にインターアクトクラブと連携していきます。

## 活動の成果

ミニひまわりの苗の定着を確認するために、植栽から2週間後に現地を確認したところ、苗はしっかりと定着し、きれいに咲いておりました。

ちょうど、ベビーカーを押して散歩中の母子2組が通りかかったため、感想を聞いたところ、「散歩中の目線の先にきれいなひまわりが咲いていて、癒されます」と高評価をいただきました。

インターアクトクラブの生徒たちとともに環境問題について考え、実行していく良い機会となりました。



## 前橋中央ロータリークラブ

# ここに来る人が快適に過ごしていただくために…

### プロジェクト

前橋公園内ベンチ寄贈およびトンネル通路清掃事業

### 目的

前橋公園内の幸の池と噴水公園をつなぐ道路下を通るトンネルの通路の壁面や蛍光灯付近のほこりやクモの巣を取り除き公園の美化を図る。

**対象** 前橋中央ロータリークラブ 20名

**参加者** 前橋中央ロータリークラブ 15名

**費用** 地区補助金 130,737円  
クラブ拠出金 64,715円

**実施時期** 2021年12月15日

### 活動内容

「水と緑と詩（うた）のまちまえばし」の象徴ともいえる前橋公園は前橋市民の憩いの場所ではありますが、都市型公園のため公園施設の通路が道路下のトンネル型になり汚れていると公園のイメージダウンおよび防犯においても通りづらくなってしまいます。

公園に来ていただいた方にゆっくり時の流れを楽しんでいただくために、ベンチの寄贈と連絡通路の清掃作業をクラブの会員でさせていただきました。

### 活動の成果

清掃作業をすることによりトンネル内が明るくなり女性でも、小さなお子さんを連れても通りやすくなりました。



## 第二分区A

桐生ロータリークラブ  
桐生南ロータリークラブ  
桐生西ロータリークラブ  
桐生赤城ロータリークラブ



## 桐生ロータリークラブ

# 桐生の街をきれいにしよう！

### プロジェクト

桐生市内の公共の場を清掃する早朝清掃例会を毎年度継続実施する社会奉仕事業

### 目的

市民の憩いの場を気持ち良く利用していただくための清掃奉仕

### 対象

桐生ロータリークラブ  
桐生ローターアクトクラブ  
桐生第一高校インターアクトクラブ

### 参加者

桐生ロータリークラブ 40~50名  
その他 20名

### 費用

30,000円

### 実施時期

①2022年5月8日  
②2020年11月20日

### 活動内容

桐生RCにおいては長年に渡り、桐生市内の公共の場をRC会員、RAC、IAC会員と共同で日曜日の早朝に清掃活動を行って来ました。

①2022年5月8日 松原橋公園



河川敷公園の奥や河原には、タイヤや家電製品、瓶や缶などのゴミが捨てられています。公園で遊ぶ子供や散歩する高齢者にとってはけがをする危険なゴミです。そうしたゴミを拾うことにより、市民が安心・安全に公園を利用出来るよう清掃を続けています。毎回ゴミ袋20~30個分のゴミを回収しています。

②2020年11月20日 市民体育館周辺

朝8時から、各自、ほうき（竹ぼうき、熊手）、



ちりとりを持参し、お揃いの青いジャンパーを着て、毎年恒例の早朝清掃を実施しました。

新市民体育館の竣工直前に体育館周辺の枯れ葉やゴミを拾い集め、新市民体育館の竣工を祝う気持ちも込めて、周辺の清掃を行いました。

ちょうど落葉の時期と重なり、落葉樹の並木が多いこともあって、ゴミ袋はあっという間に一杯になっていき、ゴミ袋50個分を回収しました。

### 活動の成果

- ・公共の場を大人数で清掃することで広範囲を素早くきれいにすることが出来る。
- ・ロータリークラブのブルゾン着用で清掃することにより、ロータリークラブの公共イメージの向上アップに繋がる。
- ・RC、RAC、IAC会員が共同で共通の清掃奉仕を行うことで連帯感が醸成される。
- ・ゴミを拾い清掃することにより、ゴミ問題への関心を深め環境問題への意識が高まる。

### 過去の清掃実施 日時場所

- 2019年5/26 桐生が岡動物園広場周辺
- 2018年4/22 桐生が岡動物園広場周辺
- 2017年3/26 桐生が岡動物園広場周辺
- 2016年4/24 桐生が岡動物園広場周辺
- 2015年4/29 桐生が岡動物園広場周辺
- 2014年5/11 桐生重要伝統的建造物保存地区
- 2013年5/12 桐生川河川敷
- 2012年5/13 松原橋公園
- 2011年5/16 各会員事業所周辺
- 2010年4/25 桐生が岡動物園広場周辺
- 2009年4/19 桐生が岡動物園広場周辺
- 2008年4/20 桐生が岡動物園広場周辺



## 桐生南ロータリークラブ

# 落ち葉を集めて心を一つに

### プロジェクト

新川公園清掃活動

### 目的

地域の公園の落ち葉掃きを、近在の高校（樹徳高等学校）の生徒と協力して行い社会貢献、奉仕活動の精神を醸成する。

### 対象（受益者）

公園利用者、桐生南ロータリアン、樹徳高等学校生徒

**参加者** 20人

**費用** 0円

**実施時期** 2022年12月

### 活動内容

桐生市稲荷町にある新川公園は面積0.016km<sup>2</sup>の都市型公園です。

中央に芝生広場があり脇に足首くらいまでの水庭、周囲を樹木が覆っています。

隣に桐生市立中央公民館があり、大きな駐車場もあることから桐生市民に限らず多くの方が利用しております。

こちらの公園では落葉の時期となると大量の落ち葉が発生いたします。その落ち葉は公園内に留まらず周辺の道路まで風で飛ばされております。樹徳高校ではこの時期の平日は毎朝落ち葉掃きを生徒に行なわせております。

桐生南ロータリークラブでは毎年、落ち葉が多い頃合いをみて、生徒とともに落ち葉掃きを行なっております。

### 活動の成果

景観美化

ロータリー活動の対外的な周知（ご利用者様からお声を掛をいただく）

高校生への啓蒙（成長してからの継続意識）



## 桐生南ロータリークラブ

## 観察を通じて身近な環境を知ろう

## プロジェクト

SATOYAMA 保全保護活動

## 目的

未来ある地域の子供たちに生物多様性、水質保全、防災等に重要な役割を果たしている里山環境について知ってもらう。

## 対象（受益者）

市民、小学生

参加者 34人

費用 約330,000円

実施時期 2019年7月

## 活動内容

持続可能な社会を構築するためには、自然との共生が必要不可欠です。

そこで地域の子供たちが身近な自然の豊かさに触れることで、その重要性を認識すると共に郷土愛が育まれます。また、地域に住む人々も子供たちの取り組みを通じて里山環境の大切さに気付き、自然との共生を日常的に考え、行動することができるようになり、持続可能な社会の必要条件が満たされると考えます。

我々ロータリアンは事前に里山の現地調査と沢のごみ拾いを行い、当日は樹徳高等学校理科部に水質調査機器をわがクラブより寄贈しました。

その機器を用いて広沢小学校の生徒90名と水質調査を行い、その後ぐんま昆虫の森の昆虫専門員である茶珍博士のお話を聞き、昆虫採集を行いました。

## 活動の成果

子供たちは茶珍先生の説明をメモを取ったりして真剣に聞き、昆虫採集を楽しそうに行い、里山環境を身近に感じたようです。



## 桐生西ロータリークラブ

# 運動公園を気持ち良く使えるように！

### プロジェクト

桐生運動公園早朝清掃並びに  
月桂樹4世の手入れ

### 目的

株分けをさせて頂きました、桐生運動公園内の月桂樹4世の継承のための活動と、その同じ運動公園を心地よく利用してもらうための早朝清掃活動

### 対象（受益者）

桐生市民並びに公園利用者

### 参加者

桐生西ロータリークラブ  
桐生西ローターアクトクラブ

### 費用

約40,000円

### 実施時期

2022年9月

### 活動内容

地域の憩いの場所・健康促進の場所となっている桐生市運動公園のなかに植樹した月桂樹4世ですが、これまで当公園の環境美化の一端を担っており、そこを中心に当クラブメンバーと桐生西ローターアクトクラブメンバーが早朝清掃を毎年行っておりましたが、長い年月が経過し、月桂樹4世が病気にかかり枯死寸前という状況になってしまいました。



それを見た、当クラブの会員有志が中心となり、念入りに何度も噴霧器での消毒作業や、高枝切りできれいに剪定し、今では病気もなく、元気できれいな月桂樹に生き返りました。そして、今年も当クラブメンバーとRACメンバーが参加して早朝清掃を行い、市民にとって大切な桐生市運動公園の環境の美化・保全活動を行うことができました。

### 活動の成果

伝統ある月桂樹4世の再生・維持を行うことができた。

市民の憩いの場所である桐生市運動公園の美化を行うことができた。

月桂樹4世の継承と運動公園の美化活動により、運動公園を利用する人々に心地よく利用していただくことができる。



## 桐生西ロータリークラブ

# 目指せ！花桃の里 東花桃10,000本プロジェクト

### プロジェクト

あずま花桃10,000本プロジェクトの支援

### 目的

10年間で10,000本の花桃の苗木を植栽して東（あずま）地区一帯を花桃の里にするというプロジェクトを支援していく

### 対象（受益者）

市民

### 参加者

桐生西ロータリークラブ

### 費用

約30,000円

### 実施時期

2019年4月

### 活動内容

毎年4月に行われる、みどり市東町の小夜戸（さやど）・大畑花桃（おおばたけ はなもも）まつりにあわせて東花桃（あずま はなもも）10,000本プロジェクトに参加し、植樹と活動のための支援金の贈呈を行いました。

このプロジェクトは10年間で10,000本の花桃の苗木を植栽して東（あずま）地区一帯を花桃の里にするという事業です。育った花桃は夜にはライトアップされ、大変きれいな姿を見ることができます。地域の環境保全是勿論のこと、観光資源の創出にも一役買うことができることも期待されます。

毎年この事業の支援活動をしていましたが、コロナ禍にあっては花桃の植栽は行われておりませんでした。早く通常の活動に戻れることを期待しています。

### 活動の成果

地域の環境美化・保全の支援ができた。

地域の活性化のコンテンツの創出ができた。



## 桐生西ロータリークラブ

# タイチェンマイの山岳部族にきれいな水を！

### プロジェクト

グローバル補助金事業  
タイチェンマイ上水道設備設置事業

### 目的

チェンマイの水不足に悩む山岳部族の住むタイ北東部チェンマイ県ムセキー村に上水道設備を設置して、きれいな水を供給する。

### 対象（受益者）

タイチェンマイ県ムセキー村

### 参加者

桐生西ロータリークラブ  
タイチェンマイロータリークラブ

### 費用

約\$3,000（グローバル補助金）

### 実施時期

2014年～2018年1月

### 活動内容

2014年秋から計画を始め、2015年4月に現地視察、完成する2018年1月まで、実に3年以上も掛かった難事業でした。しかし、そこで生まれた感動的なドラマが数々ありました。浄化タンク3基、別棟に軟水化装置、滅菌機、新しく掘られた池などがりりしく並んでおり、竣工式には、たくさんの現地の方も参加して下さり、喜んでいただきました。



### 活動の成果

浄化タンク3基・軟水化装置・滅菌機の設置と新規貯水池の掘削により清潔で安全な上水道を供給することができた。



## 桐生赤城ロータリークラブ

# 地域資源のメンテナンスと清掃

### プロジェクト

鹿田山フットパスのメンテナンス・清掃

### 目的

みどり市にある鹿田山のフットパス（森林等の風景を楽しみながら歩くことが出来る小径）のメンテ及び清掃を行い環境美化に貢献。

### 対象（受益者）

鹿田山フットパス利用者等近隣住民

### 参加者

桐生赤城RC会員21名

### 費用

40,000円

### 実施時期

2021年3月

### 活動内容

2021年3月23日（火）鹿田山フットパスにて、市川年度（2019年10月5日）に寄贈したテーブルとベンチのメンテナンス、清掃を行いました。

塗装と清掃の二つのグループに分かれ、作業が開始しました。寄贈してから1年以上経過し、塗装が剥がれてしまったので、ヤスリをかけ、塗り直しました。余ったペンキで他のテーブルも…見違えるほどきれいになりました。

眩しいほどの青空の下で、とても気持ちよく作業ができました。菜の花が咲き誇り、たいへん綺麗でした。

### 活動の成果

みどり市にある鹿田山フットパスは近隣住民のみならず、みどり市・桐生市の市民にとって憩いの場所として広く親しまれている場所である。

今回は2019年10月に寄贈したテーブルやベンチをメンテナンスすることとフットパス上の清掃や草刈り等を行った。

- ①フットパスの環境美化ができた。
- ②フットパス利用者の快適な環境整備が出来た。
- ③会員の地域奉仕への貢献意識のさらなる醸成ができた。



## 桐生赤城ロータリークラブ

# 早朝清掃奉仕

### プロジェクト

渡良瀬川遊歩道周辺の早朝清掃

### 目的

桐生市の中心部を流れる渡良瀬川の遊歩道（清桜高校周辺）を清掃することにより、環境美化に貢献する。

### 対象（受益者）

市民（遊歩道等利用者）

**参加者** 桐生赤城RC会員28名

**費用** 25,000円

**実施時期** 2021年4月

### 活動内容

2021年4月13日（火）午前7時より蕪町広場そばの駐車場に集合し、会員28名の参加で早朝清掃が行われました。昨年、コロナ禍により県立桐生西高校との合同早朝清掃が中止となったので、今年度は感染防止対策をとったう

えで実施予定でしたが、桐生西高校と桐生南高校が合併し桐生清桜高校となったのに加え、新学期間もないということから、会員だけの早朝清掃となりました。

集合場所より上流、下流に分かれ、清掃活動を開始しました。天気予報よりも早くポツポツしはじめましたが、無事終了しました。終了後、記念撮影、朝食のサンドイッチをお配りし、解散となりました。

会員の皆さんには朝早くからご協力いただきありがとうございました。

### 活動の成果

渡良瀬川は市の中心部を流れ、市民や市外からの釣り人にとっても貴重な環境資源である。普段より利用者のマナー向上もあり多くのゴミを回収することはなかったが、タバコの吸い殻等は多くあり回収できた。

- ①渡良瀬川と遊歩道の環境美化ができた。
- ②環境美化により利用者のさらなる向上に寄与。
- ③会員の地域奉仕への貢献意識のさらなる醸成ができた。



## 第二分区B

伊勢崎ロータリークラブ  
群馬境ロータリークラブ  
伊勢崎中央ロータリークラブ  
伊勢崎南ロータリークラブ  
伊勢崎東ロータリークラブ





## 群馬境ロータリークラブ

# 毎日楽しく学校に行こう！

### プロジェクト

小学校のトイレ改修プロジェクト IN タイ

### 目的

ロータリーのテーマの一つである「水と衛生プロジェクト」の一環として、不衛生な小学校のトイレを改修し子供たちの健やかで幸せな学校生活を応援します。

### 対象（受益者）

タイ、サラブリー県クンクロン町のプラフッタバット小学校。全校生徒75人、教師8人。

### 参加者

群馬 境ロータリークラブ  
 タイ スリウォンロータリークラブ  
 岩手 盛岡西北ロータリークラブ  
 九州 八幡ロータリークラブ  
 東京 大崎ロータリークラブ  
 東京 ベイロータリークラブ  
 計16名

### 費用

（群馬境RC用）  
 地区補助金 100,000円  
 クラブ拠出金 60,000円

### 実施時期

2023年2月13日

### 活動内容

タイの田舎町にある小学校ではトイレの衛生環境が大変に不衛生で、子供たちの健康が心配されているほか、学校でトイレに行くことを我慢して健康を害するなど、2次的な健康被害も懸念されています。群馬境ロータリークラブではロータリーのテーマの一つである「水と衛生プロジェクト」の一環として、子供たちが毎日楽しく、健康に学校に通えるよう他のロータリークラブと共に合同支援事業として不衛生な小学校のトイレを改修工事を行いました。今回の合同支援事業では、改修されたトイレのお披露目はもちろん、当該小学校の生徒たちからの歓迎の挨拶や踊りの披露、絵のプレゼントと、



盛大な贈呈式典も開催されました。行政の教育関連の方々や校長先生などたくさんの方にご参加頂きご挨拶と謝辞を頂戴しました。

タイ国内でも特に都会から離れた地域では『水と衛生』の問題は深刻です。5年前にも地方の小学校に浄水器を寄贈、設置し「学校にきておいしい水を飲もう！」という『水と衛生のプロジェクト』を行いました。恒例となりつつある弊クラブの『水と衛生プロジェクト』は今後もたくさんのロータリークラブと共に継続して参ります。

### 活動の成果

これまでは、不衛生なトイレの使用をためらい我慢することで、体調を崩す生徒もおり、不登校になる生徒もいたそうです。トイレの改修後はトイレの前に列を作り生徒が笑顔で順番待ちをしていると校長先生がおっしゃっていました。不衛生なトイレを嫌って不登校になる生徒もいなくなったそうです。贈呈式の様子は、翌日のニュース番組でも謝意と共に大きく取り上げられました。



微力ながら、我々の活動が子供たちの健やかで幸せな学校生活の一助になったこと、そして現地の人々に喜んでいただけた事を実感しました。

## 伊勢崎南ロータリークラブ

# 花火を楽しんだ後は、来た時よりも美しく

### プロジェクト

いせさき花火大会後の清掃活動

### 目的

花火大会観覧会場（伊勢崎西部公園）のゴミ等の片づけ。

### 対象（受益者）

伊勢崎市公園設備

### 参加者

200名(内伊勢崎南RC会員15名程)

### 費用

軍手等1,000円程度

### 実施時期

2022年8月  
毎年、いせさき花火大会の翌朝

### 活動内容

夏の風物詩である花火大会は、市民だけでなく近隣、近県からも多くの観覧者が集まるイベントであります。お子様からお年寄りまでとても楽しみにしています。そして会場には沢山の屋台が出店され、会場には観覧者のレジャーシートが一面に敷かれます。しかしながら多くの人々が集まる観覧後には、市民の憩いの場である公園に多くのゴミが残されてしまっているのが現状です。その状況を改善するために、伊勢崎市経済部を中心に各団体と一緒に開催前の公園より綺麗になるように清掃活動を行っております。

活動は2016年より毎年行い（2021・2022年は新型コロナの影響により開催中止）花火大会翌朝に集合し活動を行っております。

当日のゴミの持ち帰りの告知やゴミ箱の設置などにより、以前のようにゴミ散乱は少なくなってきましたはありますが他の会場を含めると200,000人以上が訪れる花火大会ですので、まだまだ放置ゴミはなくなりません。今後も楽しんだ後の会場美化に努めて活動をしていきます。



### 活動の成果

活動後の公園にはゴミの散乱もきれいになり、市民の憩いの公園となっております。



## 伊勢崎東ロータリークラブ

# 多くの市民と地域に根ざした森を育てよう

### プロジェクト

ふるさとの森づくりを応援

### 目的

世界ロータリーデーの祝意並びに地域への環境奉仕活動として。

### 対象（受益者）

伊勢崎市民

### 参加者

伊勢崎東ロータリークラブ20名

### 費用

クラブ拠出金 約100,000円

### 実施時期

2022-2023年度  
3月27日（月）予定



### 活動内容

当クラブは、2016年からロータリーデーの奉仕事業と公園の環境整備の一助として植樹を始めました。植樹場所は、市内の北部環状線が通る「波志江沼環境ふれあい公園」です。

地元伊勢崎市でロータリー活動させていただくことに感謝し、そして地球温暖化対策の一助として行政と相談の上「ハナモモ」の植樹を行っています。

毎年、世界ロータリーデーにあわせて2月を予定しています。2022-2023年度は3月27日（月）に植樹式を行います。

### 活動の成果

ハナモモは、花を觀賞するための木です。「赤」「白」「ピンク」の花で市民の憩いの場である公園を訪れる人を楽しませます。

二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の防止に貢献しています。



## 伊勢崎東ロータリークラブ

# もったいないをありがとうに

### プロジェクト

フードバンク&相談会を支援

### 目的

家庭や企業で賞味期限や使用期限はあるけれど、食べない食品や利用しない商品を困窮者へ無償で提供する活動を支援する。

### 対象（受益者）

伊勢崎市内を中心に支援が必要な方

### 参加者

伊勢崎東ロータリークラブ  
クラブ拠出金 100,000円

### 費用

20名

### 実施時期

2023年1月15日（日）  
2023年3月12日（日）

### 活動内容

本年度8月の地区補助金事業で「子ども食堂支援事業」を行いました。その際にフードバンクの方々にお手伝いをいただきました。そのご縁でフードバンクの活動を支援することとなりました。フードバンクとは、「寄付していただいた食品をただ渡すだけではなく、支援に必要な方との架け橋になる」「専門の相談員もボランティアとして参加し、困窮者のお話を聞き関係

各所に繋げる」といった活動です。

11月7日（月）理事会にてフードバンク支援が決定し、12月5日（月）と12月12日（月）に家庭や企業で眠っている食品や商品を会員から寄付として提供を受けました。カップ麺、米、缶詰、マスク、ボックスティッシュ、石けんなど軽トラック約1台分です。次に、12月12日（月）にはクラブ例会にフードバンクの学生ボランティア2人をお招きし、パワーポイントを活用したフードバンクと困窮者の現状についての卓話を頂きました。

1月15日（日）に「伊勢崎市緋の郷円形交流館」で行われたフードバンク&相談会に会員20名と支援金の贈呈と来場者の整理や食品や商品の提供に参加いたしました。支援金は1月15日（日）と3月12日（日）のポスターやリーフレットの印刷物などに活用されました。

### 活動の成果

フードバンク運営者は全てボランティアで活動しています。ポスター、チラシ等の作成にあたり資金面でその活動を支援することが出来ました。

次回以降に反映できるようアンケートも実施しました。

### アンケート結果抜粋

1月15日（日）の来場者130名。50代、70代が多い。生活保護受給者は47名。希望する支援品の1番は米でした。



第二分区B合同事業

華蔵寺公園ツツジ再生事業

プロジェクト

伊勢崎5ロータリークラブ合同環境事業  
(主管クラブ：伊勢崎ロータリークラブ)

目的

伊勢崎市華蔵寺公園のツツジの保全作業

対象

伊勢崎5ロータリークラブの会員  
及び伊勢崎ローターアクト会員

参加者

75名  
(伊勢崎RC22名、群馬境RC9名、伊勢崎中央RC16名、伊勢崎南RC12名、伊勢崎東RC10名、伊勢崎RAC6名)

費用

なし

実施時期

2023年2月23日

活動内容

本年度、当地区中野ガバナーよりローターデーに因んで、IMのテーマである「環境の保全」についての奉仕活動を要請されました。そのことを受け、この度、華蔵寺公園のツツジ再生事業を実施いたしました。

伊勢崎市では2022年度より華蔵寺公園共生「はな咲く」プロジェクトとして、華蔵寺公園のリニューアルを計画しており、そのリニューアルの一環として、園内約5,000株の老木となったツツジの再生を目指しており、今回はその中の約500株を対象に作業をいたしました。

ツツジの上には、景観としては抜群である樹高の高いマツがそびえていることから、ツツジにとっては日照不足であり、通年、上からマツの葉が落ちツツジに堆積する状況となっております。そのツツジの枝にかかったマツの葉を、大勢の会員でひとつひとつ、丁寧に除去作業を行いました。

当日は、第2分区B久保木ガバナー補佐のご挨拶後、臂伊勢崎市長からご挨拶を頂戴し、今事業を歓迎していただきました。

作業内容の説明後、5ロータリークラブの参加者の方々がツツジを真剣に見つめ、枝からんだマツの葉を一つ一つ丁寧に除去していきましました。1株のツツジでも完全にマツの葉を除去するには根気のいる作業であり、花芽のついたツツジの枝を傷めないよう、皆が慎重に一点を見つめる眼差しが印象的でありました。

作業途中では、5ロータリークラブの会員が笑顔で談笑している風景を見ると、親睦を兼ねたローターデーとなったと実感いたしました。

そして、今回の5ロータリークラブ会員それぞれの想いが今年の春に綺麗な花を咲かせてくれることでしょう。

作業終了後、森田パストガバナーより講評をいただき、無事に閉会いたしました。

この合同環境事業は、翌日の上毛新聞に掲載された他、市役所のSNSにおいても掲載されました。また、伊勢崎ロータリークラブのYouTubeにも作業風景をアップしておりますので、是非ご覧いただき公共イメージの向上にも繋げていきたいと願います。

活動の成果

- ①この合同環境事業で華蔵寺公園内のツツジの樹勢回復につながりました。
- ②伊勢崎市への奉仕活動の一環にもなり、また公共イメージの向上に繋げることができました。
- ③5クラブ合同による事業であり他クラブとの交流を大いに深めることができました。



(上毛新聞掲載 2.24)

## 第二分区B 合同事業

# 伊勢崎5 R C 合同による環境奉仕活動

### プロジェクト

伊勢崎5ロータリークラブ合同環境事業

### 目的

落下した松の枝を取り除くことによりツツジへの日照不足を解消し、ツツジの樹勢回復の一助とする。

### 対象（受益者）

伊勢崎華蔵寺公園への来訪者

### 参加者

伊勢崎中央RCメンバー15名、伊勢崎5RC全体で75名程度

### 費用

0円

### 実施時期

2023年2月23日  
(ロータリーデー)

### 活動内容

伊勢崎市の代表的な公園である華蔵寺公園には約5,000本のツツジが植樹されており、4月中旬から5月中旬のツツジの花の見頃の時期には多くの来園者が訪れます。

しかし、近年は隣接している松の木の枝の落下による日照不足が原因となりツツジの花が以前より咲かなくなるという問題が指摘されておりました。



ちょうど当クラブ、また伊勢崎5RC合同による環境事業活動を模索中のところでもあり、今回ツツジ再生事業にも取り組むこととなりました。

当日は伊勢崎市長も駆けつけ、ツツジに覆いかぶさる松の枝を取り除く、また下に落ちていた松の枝を集める等の作業を行いました。

### 活動の成果

- ・予想以上に多くの松の枝がツツジに覆いかぶさっていましたが、参加者の協力により、多くの松の枝、また枯れ葉等取り除くことができ、しばらくは日照不足も解消されるものと思われます。
- ・現在の松の状態ではツツジに落下した枝を定期的に取り除く必要があるなど今後の定期的な取り除き作業やメンテナンス等の取り組みなどの課題を見出すことができました。
- ・伊勢崎5RC合同事業だったため、他クラブのメンバーとのコミュニケーションをとることができ、大変有意義な時間となりました。
- ・当クラブにおいては伊勢崎みらい公園の河津さくらの植樹に続き、伊勢崎市民の憩いの場でもある華蔵寺公園でも奉仕活動に取り組むことができました。



## 第三分区

高崎ロータリークラブ

高崎南ロータリークラブ

高崎北ロータリークラブ

高崎東ロータリークラブ

高崎シンフォニーロータリークラブ

高崎セントラルロータリークラブ





## 高崎南ロータリークラブ

# 身近なところから始めました

### プロジェクト①

例会での食品ロスの取り組み

#### 目的

食事のロスを無くすため。

- 対象** 高崎南ロータリークラブ会員
- 参加者** 高崎南ロータリークラブ会員
- 費用** 約3,000円（一ヶ月のFAX代）
- 実施時期** 今年度より

#### 活動内容

会員にFAX等による出席の確認を必ず2～3回行ない、また会報にSAAからお願いとして食事数の状況を記載し、食事のロスを無くすために出欠の連絡にご協力をお願いしております。

#### 活動の成果

食事のロスが軽減されている。



### プロジェクト②

烏川河川敷清掃活動

#### 目的

烏川河川敷一帯の環境保護。

- 対象** 高崎市
- 参加者** 高崎南ロータリークラブ会員 15名
- 費用** 0円
- 実施時期** 2023年2月23日

#### 活動内容

2023年2月23日ロータリーデーでの活動で、烏川八千代橋下、河川敷一帯で15名が参加して清掃活動を行いました。



### プロジェクト③

カンボジア アンコールトム地区への井戸20基寄贈

#### 目的

カンボジア アンコールトム地区。

- 対象** アンコールトム郡の村の水源
- 参加者** 高崎南ロータリークラブ会員 14名
- 費用** 580,000円
- 実施時期** 2015年8月26日～30日まで5日間

#### 活動内容・活動の成果

地区補助金事業を活用して内戦のあとカンボジアの田舎ではまだ水源不足のため、井戸と水質を検査して集落の人々に感謝されました。





## 高崎シンフォニーロータリークラブ

# 早朝清掃で環境を整えゴミ削減を目指して

### プロジェクト

ポールハリスの月桂樹と清掃活動

### 目的

市の施設敷地内にある、ポールハリスの月桂樹を認知していただくよう、早朝清掃により環境を整え、さらに周辺住民のゴミ削減意識を高める。

### 対象（受益者）

施設利用者、周辺住民

**参加者** 40名

**費用** 500円程度

### 活動内容

環境に関する奉仕活動として、クラブとしては、長年、高崎駅周辺の早朝清掃を毎年実施してきましたが、2022年は、高崎市の文化会館敷地内にあります、「ポールハリスの月桂樹・4世」と「メモリアル石碑」周辺の清掃を行いました。

まず、こんな身近なところに、ポールハリスの記念樹があることを私たち会員もほとんどの知らない状態でした。

そこで、早朝清掃により環境を整えることで、施設を利用する皆様や周辺住民の方々にもこの記念樹の存在に気付いていただくように会員皆できれいにさせていただきました。

さらに清掃することで、周辺の方々のゴミ削減意識を高めていただき、環境問題も身近に感じていただけたらと考えました。

### 活動の成果

私たちロータリアンとしても、自分たちの気持ちを新たに、今後の奉仕活動を改めて考えるきっかけにさせていただきました。



## 高崎シンフォニーロータリークラブ

# ウクライナ避難民支援とゴミ削減を目指して

### プロジェクト

古着活用でウクライナ避難学生支援

### 目的

ウクライナ避難学生たちへ古着を贈呈し環境にもやさしい支援を進める。

### 対象 (受益者)

ウクライナ避難学生 30名

参加者 45名

費用 1,000円程度

### 活動内容・活動の成果

2022年2月に勃発したウクライナ戦争は、ウクライナ国内に多大な被害をもたらし、ウクライナから避難する住民も多数おります。

群馬県も多くの避難者を受け入れています。ウクライナに対する支援を、ロータリアンとして何ができるかクラブ内で検討してきました。

その中で、着の身着のまま避難してきたウクライナの人達が、日本での冬を向かえるにあたり、防寒着を中心に支援品を渡すことといたしました。

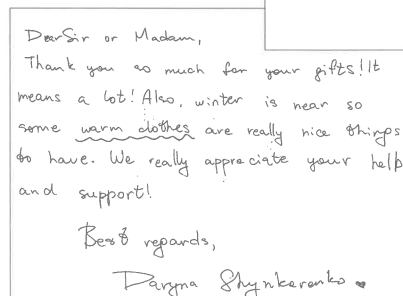
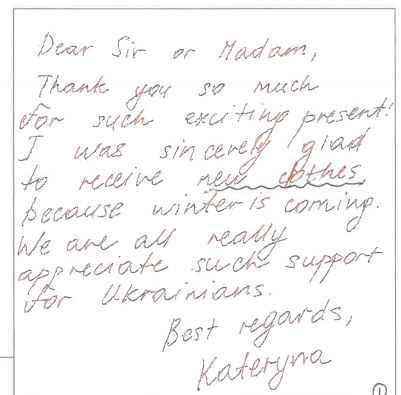
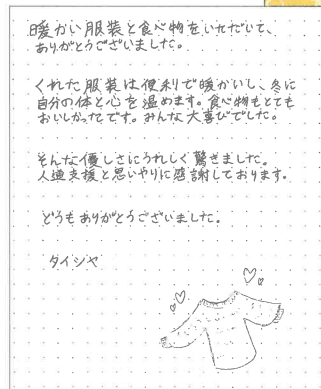
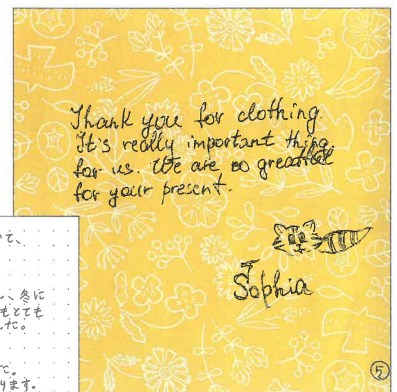
クラブ会員や関係者から古着や電化製品、食品など支援品を募集したところ、段ボール30箱以上の品物が集まり、2022年11月29日、会長・幹事・奉仕プロジェクト委員長・国際奉仕委員長により、前橋市の学校に直接伺い、学生の皆さんと一緒に学校に運びこみ、手渡しさせ



ていただきました。

その後、学生から感謝の手紙をたくさん受け取ることができました。英語や日本語でも書かれており、デコレーションされた楽しいお便りでした。

この活動を行うことで、会員の中にも捨てるしまう物品を活用することでゴミ削減に繋がり、環境問題という視点から様々な奉仕、支援の活動ができることを改めて確認させていただきました。



## 高崎セントラルロータリークラブ

# 豊かな未来のために ～自然とおいしい水を～

### プロジェクト

水源涵養林「緑のダム応援隊」プロジェクト

### 目的

高崎市民の水源である烏川上流倉渚地区の水源涵養林への植樹をとおして豊かな自然と水を残す。

### 対象（受益者）

高崎市民

### 参加者

高崎セントラルロータリークラブ、倉渚はなっぱい協議会、シルバー人材センター

### 費用

毎年30,000円、周年記念事業300,000円

### 実施時期

2007年～

### 活動内容

活動拠点になる烏川上流の倉渚町高芝地区（はまゆう山荘付近）には台風による土砂災害や山林火災により樹木が消失してしまった場所があり、2007年4月、2009年4月の2回の植樹を始め、その後の定期的な管理として「緑のダム応援隊」活動と称し樹木の生長を遮る下草の除去などを毎年3回実施し涵養林の維持・管理に努めてきました。

また、害獣による幹や新芽への食害が発生していた為、2015年には樹木を守るため植林をした全ての樹木の幹にネットを巻くなどの食害対策も実施しました。その結果、植林時に2～3センチの幹だった樹木も十数センチまで成長をしました。

2020年4月にはクラブ20周年記念事業とし高崎市水道局並びに地元の森林組合の「はなっぱい協議会」とも協議を重ね「はまゆう山荘」周辺にオオヤマザクラの植樹をしました。

### 活動の成果

高崎市中心部から40km以上離れ、急斜面のある山間部での環境奉仕活動は地味で大変ハードな活動ですが、創立20周年記念事業は上毛新聞にも取り上げてもらい、また高崎市より感謝状を頂戴することとなりました。

今まではクラブ内で完結していた事業でしたが、行政・地域と共に実行したことにより、この活動が認知され地域との交流も生まれました。



## 第三分区合同事業

# 環境に対する取り組み

### プロジェクト

2/23ロータリーDAYの「烏川河川敷清掃活動」第3分区合同事業

(主管クラブ：高崎ロータリークラブ)

### 目的

高崎RCがホストにて、ロータリーの記念日に地域社会の人たちと楽しみながら河川清掃を行い環境について学んでもらうイベントを開催。第3分区会員参加者のより一層の親睦と、一般の人たちにロータリーをよりよく理解していただける機会としたい。

### 対象(受益者)

地域住民、高崎市、国土交通省

### 参加者

高崎RC35名、高崎南RC15名、高崎北RC10名、高崎東RC9名、高崎シンフォニーRC11名、高崎セントラルRC13名、一般参加者約15名、合計108名程度。

### 費用

ごみ袋・トング・軍手110組、分別収集BOX、のぼりは、会員企業の日本たばこ

産業株が無償提供。

ごみ収集運搬車の手配は、会員企業の群成舎株が無償提供。

受付デスク&椅子レンタル代4,620円、コーヒーマシナリースカー代60,000円 合計64,620円

### 実施時期

2023年2月23日(木)祝日、13:30~15:00

### 活動内容・活動の成果

思ったより綺麗な河川敷だったが、増水で流れ着いた空き缶・ペットボトル、不法投棄の不燃物等、軽トラック1台分集まった。

見えないところ、目立たないところをきれいにすると、全体の場の雰囲気良くなる。ごみ収集という単純な作業であるが、奉仕活動として行くと「楽しかった!」という声があった。

きれいな河川敷は市民が日ごろ気かけないが、実際に訪れた時に清潔であることや誇らしい気持ちは「こころの財産になる」と思う。



## 第三分区合同事業

# ロータリーデーに清掃活動

### プロジェクト

烏川河川敷清掃

### 目的

第3分区各クラブとの合同イベントに参加。地域の清掃活動を通じ奉仕と環境に対する意識を高める。

### 対象

第3分区各ロータリークラブ

### 参加者

高崎北ロータリークラブ会員10名

### 費用

なし

### 実施時期

2023年2月23日

### 活動内容

ロータリーデーを活用し、第3分区各ロータリークラブの有志が市内烏川にかかる八千代橋～和田橋間の河川敷のゴミ拾いを実施しました。

### 活動の成果

当クラブからは10名が参加し快晴のもと汗をながしました。また、地区補助金事業で支援している知的障害者バンド「シャインスターズ」からも関係者数名が参加協力してくださいました。ゴミは思ったほど多くはありませんでしたが、環境を意識するひとつのきっかけになったと感じます。ともあれ第3分区から多くのロータリアンが集まりロータリークラブの組織力を再認識する行事でした。







## 第四分区A

太田ロータリークラブ  
太田西ロータリークラブ  
太田南ロータリークラブ  
新田ロータリークラブ  
太田中央ロータリークラブ



太田ロータリークラブ

# 「水」の学びと公園整備活動

## プロジェクト

太田中央公園「ロータリーの森」整備事業

## 目的

環境保全意識の確認と公園の整備、リサイクル活動。

## 対象（受益者）

太田ロータリークラブ会員（公園利用者、ワクチン被接種者）

## 参加者

太田ロータリークラブ会員 28名

## 費用

50,000円

## 実施時期

2023年2月23日（木）  
ロータリーデー

## 活動内容

2月23日ロータリーデー当日、太田市保健センターにてSDGsの6番目の目標にもある「水」をテーマに水ジャーナリストとして全国で活動する橋本淳司先生を講師に、「環境問題水を考える」をテーマに講演をいただいた。

先生は、中学校の教科書も執筆するこの分野の専門家だ。身近な飲み水の話から、地球規模の環境問題、気候問題、資源問題、そして、教

育の問題まで、実に多くの事象が「水」を起因として係わっていることを具体的な例を交えてわかりやすく学んだ。そして、決して他人事ではないことを実感した講演会だった。

当日は、環境保全の一環として、各会員家庭や事業所から持ち寄ったペットボトルキャップの回収も行い、NPO法人を通じて、ワクチン接種の一助となる活動も併せて行った。

その後、隣接する太田中央公園の一角にある「ロータリーの森」に出て、「ポールハリス来日記念月桂樹三世」をはじめとする植樹の生育を確認し、合わせて周囲の清掃活動を行った。

## 活動の成果

水に恵まれている日本人が気付かない世界の国々の水事情、水を得る代償として発生する環境負荷、廃棄物の発生、子供たちの教育機会の逸失等、多くのことを学んだ。また、ペットボトルキャップが、ワクチンの原資となり、社会への貢献ができた。「ロータリーの森」も少しずつではあるが木々も成長し、市民の憩いの場として整備されつつある。



太田西ロータリークラブ

# 私達の生活する中で流れ出た排水はどうなっているのでしょうか

**プロジェクト**

太田市の水処理事業

**目的**

水環境の保全の理解。

**対象**

太田西ロータリークラブ 11名

**参加者**

太田西ロータリークラブ 11名  
太田西プロバスクラブ 3名

**費用**

30,000円

**実施時期**

2023年2月22日（水）

**活動内容に至る経緯**

私達が生活する中で、食品問題や二酸化炭素の排出や未処理水など環境問題が多種多様となって考えはじめられた現在、私達の活動する中で使用され汚水となった排水はどうなっているのでしょうか!?洗濯した水、食器を洗った水、風呂での使用された水はそのまま河川に流れたり、側溝などに流れたり、浸透させたりしている場合もありますが、こうした不安定な排水がそのまま川や側溝へ流れ出る時に悪臭などの原因となります。また工場から排出された有害物質や自然浄化力では処理しきれないほどの多量の排水廃棄物により、過去においては水俣病や

イタイイタイ病等、深刻な公害が発生した等の経緯もあり、生活環境保全及び公衆衛生の向上も図る必要があります。

これら以上のことを鑑みて私達が普段何気なく使用され汚された水はどのように再生されていくのかを、まずは勉強会を実施いたしました。2023年2月22日太田市第2中央浄化センター施設内で実施。太田西ロータリークラブ11名と太田西プロバスクラブ3名合わせて14名が参加しました。勉強会での施設内の各処理槽等の機能説明を現管理業者の社員の方から説明をいただきました。参加者全員熱心に巡回視察をして終わりました。

**活動の成果**

私達が何気なく生活する上で使用され汚された水が、再びいろいろな工程を経て命の育む水となり再生されていく過程をみて、限りある資源の水の大切さを再認識できたことである。



## 太田南ロータリークラブ

## フードドライブ（家庭で余っている食品の持ち寄り運動）の展開

## プロジェクト

フードバンクおおたへの寄贈事業

## 目的

家庭や事業所において、余っている食品を処分するのではなく、食べ物に困っている市民や施設に提供している「フードバンクおおた」へ寄贈することにより、環境問題の一助とする。

## 対象（受益者）

生活に困窮する市民や施設入居者

**参加者** 太田南ロータリークラブ 45名

**費用** なし（会員による持ち寄り）

**実施時期** 2023年2月22日

## 活動内容

地球環境問題を考えた奉仕プロジェクトの実施にあたり、太田市が取り組んでいる「フードバンクおおた」の主旨が適していると捉え、現場に出向き状況調査を実施した。「フードバンクおおた」は、設立3年目となり、認知度は少しずつ増えているとのことであったが、昨今の物価高やコロナ禍により、各家庭では必要なものを必要な分購入することが習慣化されたことや事業所の贈答品購入もなくなっていることも

あり、集められる食品数は少なくなっていることが分かった。

しかしながら、食べ物に困っている生活困窮者や該当施設は増え続けており、反比例しているのが実態であった。

そこで、2022年10月当クラブ理事会において、事業内容の共有を行い、今回の寄贈事業への承認を得、クラブメンバー全員への情報共有と事業実施方針を例会にて行った。食品の募集は2022年12月から2023年2月までの例会時に回収として実施。2月23日ロータリーデーに寄贈日程を計画したが祝日にあたるため、前日の22日に実施、寄贈した。

## 活動の成果

贈呈品目は、カップ麺、缶詰、コーヒーやそばなど100点以上が集まり、新米30kgについては、当クラブ会長自ら育てた農業生産物であった。我々一般家庭で余った食品を「フードバンクおおた」（太田市）が収集し、生活に困っている方々に責任をもって配布していただく今回の事業は、間接的ではあるが、対象市民の力添えになりつつ、大切な資源の有効活用と環境負担への配慮が実現できる試みである。

今回、初めて取り組んだ事業であったが、今後も年2回程度を目標に実施し、環境保全、食品ロス削減に取り組みながら太田市の事業に協力していきたいと考えている。



## 新田ロータリークラブ

# 国際的な視野で環境問題に努める企業訪問

### プロジェクト

『地元で展開する工場見学を通じて環境問題の中の「砂」について考える』

### 目的

小さなクラブゆえ、大規模な事業は出来ませんが、新田という地域で活躍する企業を訪問し環境問題の重要性を考える。

### 対象

- ・新田ロータリークラブ
- ・群桐エコロ株式会社

群馬ハイブリッドクリーンセンター

住所：群馬県太田市新田大町600番26,27

### 参加者

新田ロータリークラブ 14名

### 費用

約10,000円

### 実施時期

2023年2月22日（平日）  
（ロータリーデーに合わせて）

### 活動内容

廃棄物を1,300℃以上に加熱し、廃棄物中の良質の固化物取り出し人工砂を作っています。なぜ「砂」なのか？

「砂」が希少化・大金に変わる現代



近年世界各地で砂不足が問題化し、違法採取による環境破壊が顕在化したり、「砂マフィア」と呼ばれる犯罪組織が暗躍したりするほどです。「砂」は私たちの生活に非常に密着しており、コンクリートやアスファルトの材料、ガラス、歯磨き粉、化粧品にいたるまで日常生活にとって必需品となっています。しかし私たちのイメージでは温暖化により砂漠が広がっているから砂は大量にあるのでは？と思いますが、実

際には砂漠の砂は丸く小さすぎて、最大の使用用途でコンクリートにも使用出来ず、埋め立て用としても利用出来ない現状です。アラブ首長国連邦（UAE）も、国土の大半が砂漠であるにもかかわらず関わらず常に砂を必要としていて、2017年は1200,000トンを超えて海外から輸入しています。（家一軒200t、病院一つに3000t）

特に、建築資材に欠かせない良質な砂の調達に困難となっています。その一方で、産業廃棄物は処分コストの問題や埋立処分場の確保が困難なことから年々増加し、その排出量は年間4億トンにもものぼります。こうした背景から、環境保護・資源再利用のために産業廃棄物溶融固化物から製造した人工砂を天然砂の代替として使用されることが注目されています。

### 活動の成果

この新田の地であらゆる廃棄物からエネルギーを抽出し更に世の中で必要とされている「砂」を作り出し世の中の建築物・構造物への提供へ挑戦し続ける工場見学をさせていただき非常に誇りに思える経験を肌で感じる事ができました。



世の中の全ての物には価値がありその価値をどのような視点で見つけ出しどのように考えどのように利用していくか、これからの未来を考える機会となりました。

## 太田中央ロータリークラブ

## 目指せ！ 持続可能なリサイクル事業

## プロジェクト

環境保全実践活動事業（沖縄）

## 目的

中野ガバナー年度の地区目標のひとつ「環境の保全」のテーマ実施の薦めにおいて「環境問題をテーマにした事業」の視察研修事業を実施。

**対象** 太田中央RC会員 42名

**参加者** 13名

**費用** 自己負担

**実施時期** 2023年2月23日

## 活動内容

当クラブでは、今年度、会長方針のひとつSDGsの実践を事業に取り入れながら活動を進めて行きたいと言う考えのもと「環境問題をテーマにした事業」環境保全などを行うロータリーデーの日程に合わせ、環境保全実践活動を視察研修移動例会として、実施しました。

会員メンバーの関連する企業様が沖縄県において、20数年前から「ガラス瓶リサイクル」事業を展開し、ガラスびんを人工軽石にリサイクルする注目の企業様の協力を得て、2月23日のロータリーデーに環境に関する視察研修事業を行いました。

最初に、担当の常務さんからガラスリサイクルの概要の説明を受け、事業の全体的な内容に

ついてのプロモーションビデオを見ながら説明をして頂き、廃ガラス再資源化プラントシステムの工場を見させて頂きました。参加会員メンバー全員が真剣に研修に取り組みました。処理が困難とされているガラスびんを色に関係なく効率的にリサイクルされる技術、ガラスからガラスへのリサイクルではなく、ガラスからの形状・性質の全く違う、人工軽石を製造する技術は今後注目されるものと実感しました。

近年はSDGsへの関心も高まる中で、協力して頂いた企業様はこの取り組みはSDGsにマッチしていると感じ、この研修を通して、環境意識の向上に役立てていきたいと思ひます。

## 活動の成果

会員がこの視察研修を通して環境問題に関する持続可能な社会を身近に感じ、自分自身がどのようにSDGsを考えながら、各分野での職業においてこの考え方を浸透させていくことが重要かを理解することが出来たと思ひます。

普段自分たちの身近にある資源（空き瓶）が加工処理され、幅広い建設資材にリサイクルされていました。この工程を実際に見ながら身近に触れることにより、SDGsの7項目目（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）と11項目の（住み続けられるまちづくりを）等を感じることが出来、各人の生活にそれらの考え方が浸透できたと思ひます。

今後もロータリー活動を通じてSDGsを実践しようと考えております。







## 第四分区B

館林ロータリークラブ

大泉ロータリークラブ

館林西ロータリークラブ

館林東ロータリークラブ

館林ミレニアムロータリークラブ



## 館林ロータリークラブ

## 環境保全実践活動の基本

## プロジェクト

鶴生田川沿いの清掃

## 目的

環境保全実践活動として身近な川沿いを改めて清掃する事により現状を把握し未来につなげる。

## 対象

館林ロータリークラブ、館林高校 IAC、館林青年会議所、館林ボーイスカウト

## 参加者

54人 (IAC等含む)

## 費用

30,000円

## 実施時期

2023年2月18日

## 活動内容

ロータリーデーにちなみ、第2840地区中野正美ガバナーが提唱される環境保全実践活動の一環として鶴生田川沿いの清掃を行いました。

環境保全の基本として身近なところで清掃活動をすることにより、なぜゴミが落ちているか、環境にどのような影響があるかを改めて考えるよい機会になると思い企画いたしました。

当日は、館林市立南幼稚園南側の緑道に集合し、参加者が清掃道具を持って川沿いを手分けをして行いました。

遠目で見ると、さほどゴミなどは無いように

見えたのですが、いざ始めてみますと思いのほか集まりました。

作業中は高校生やボーイスカウトの皆さんと青年会議所の皆さんやロータリアンが年齢にかかわらず、一緒に作業を一生懸命行っていました。

最後は収集したゴミを分別し、各団体の代表が感想を述べ合って終了いたしました。

## 活動の成果

参加して頂いた方々には、あらためて環境問題について考えるよい機会になったと思います。落ちていたゴミの種類では、特にタバコの吸殻が一番考えさせられました。他のごみについては意図的では無い可能性がありますが、タバコの吸殻に関しては、ポイ捨てをしているとしか考えられないからです。なぜこのゴミがここにあるのかを考える事によって自分達がこれから気をつける事を確認する良い機会でした。

まずは、ゴミを外に出さない。そして身近なゴミは出来るだけ回収してきちんと処理をするという、当たり前のことをこれからも続けていく事が環境問題を考えていく上で、基本的で重要な事だと思いました。

配られたゴミ拾い tong 等を各自持ち帰って頂いたので、自宅の周り等をなげなく清掃して頂ければ一番の環境保全実践活動になると思っております。

また、上毛新聞シャトル、館林ケーブルテレビの方々に取材をして頂き、公共イメージの向上にも貢献出来たと思います。



大泉ロータリークラブ

# 再生！城之内公園の桜並木

## プロジェクト

「城之内公園」への桜の植樹事業

## 目的

「城之内公園」の桜並木の再生

## 対象（受益者）

大泉町民を含む近隣市町住民

## 参加者

大泉RC 25名

## 費用

地区補助金 約1240,000円  
クラブ拠出金 約130,000円

## 実施時期

2020年2月～継続中

## 活動内容

このプロジェクトは、「クビアカツヤカミキリ」に食い荒らされた桜を補植し公園の桜並木を再生する事を目的に継続的に行われています。町内随一の桜の名所であり「城之内公園」ですが、桜の咲く季節になりますと、町民を始め県内外から鑑賞に多くの方が見えられ楽しんでいただく桜の名所です。しかし、2015年7月に群馬県内で初めて館林で確認されました「クビアカツヤカミキリ」という外来種により、桜・梅などの木に幼虫を産み付け、成長段階で木を弱らせて枯れてしまうという被害が東毛地区に拡大しました。「城ノ内公園」も多くの木に被害が出てしまい寂しい状況となってしまいました。そこで桜の補植を進めて元の姿に戻すためにロータリー財団地区補助金を活用させていただき再生活動を開始しました。



**【植樹の開始】** 2020年2月に内堀に8本の植樹を実施。植樹と町への寄贈式を行い、町長・町関係者また、日頃公園のお掃除などしていただいている老人会の皆さんにも参加いただき盛大に開催出来ました。

**【2回目の植樹】** 2021年2月に内堀・本丸に14本の植樹。植樹と寄贈式は前年同様に開催出来ました。

**【3回目の植樹】** 2022年2月に外堀を中心に16本の植樹。本年が大泉ロータリークラブ創立55周年に当たりましたが、新型コロナ禍という事で行事等も開催出来ませんでしたので、本数も増やし記念といたしました。また従来植樹式等も密を避けることから、町への寄贈式を役場で行い、群馬テレビ・上毛新聞にも来ていただき、その日の群馬テレビのニュースなどでも取り上げて頂き、ロータリークラブのイメージアップにもつながりました。またその取材の中で、今後の目標は100本としましたので今後も続けていきます。

**【4回目の植樹】** 2023年3月12日に外堀・戦没者慰霊塔の周り等に12本の植樹し寄贈式も今年現地で開催いたしました。今年の植樹で合計50本になりますので今後も100本になるまで継続して行く計画をし「環境保全の取り組み」貢献して行きたいと思っています。

## 活動の成果

この補植事業は、害虫により朽ち、倒木防止の為切り倒されてしまった桜並木が再生される第一歩となります。何年か後には元のように花見客で賑わう公園に戻るよう期待しつつ、継続してまいります。



## 館林西ロータリークラブ

## 白鳥の飛来する沼をきれいに!!

## プロジェクト

多々良沼周辺の清掃活動

## 目的

白鳥が飛来する沼として有名な多々良沼周辺で清掃活動を毎年行うことにより、かけがえのない財産という認識を周辺住民に示す。

## 対象（受益者）

邑楽町住民（約27,800名）  
館林市民（約75,800名）

参加者 ロータリークラブメンバー

費用 約50,000円

実施時期 毎年4月第1日曜日

## 活動内容

この活動が始まった1994年当時は、多々良沼周辺は不法投棄が横行し、食品包装ごみの他、自転車、タンス等の粗大ごみまで捨てられており、場所によっては異臭までするような惨状でした。こうした状況に邑楽町の若手職員は危機感を募らせ、邑楽町周辺で活動する団体（数団体）に対して共同の清掃活動を呼び掛けたことに端を発しています。当クラブもこの危機感を共有し、当初からこの活動に参加しております。

活動は、「白鳥にストレスを与えないように」との配慮から、北方に飛び立った後の4月第1日曜日に実施し、一定の活動成果が表れた十数年後には共同の清掃活動を終了する運びとなりましたが、当クラブに於いてはその後も周辺の景観保持と美化意識の継続を目指して現在に至るまで毎年、同日に継続して実施している事業となっています。

現在では、邑楽町の農村広場から多々良沼西岸にかけて清掃活動を行っております。自治体により周辺の景観整備が進み、地域の住民の意識が高まったことにより以前のような惨状では

なくなったものの、当クラブのメンバーにより毎年2時間ほどの活動で、多い時は軽トラック1台分程の「ゴミ」を収集しています。



2022年4月3日 多々良川土手

## 活動の成果

年々、ゴミの収集量は少なくなっているが、全くなくなったわけではありません。清掃活動は「ただゴミを拾ってきれいにする」というだけでなく、「捨てにくい場所にする」事も重要となってきます。ロータリークラブの帽子とジャンパーを着たメンバーが4月第1日曜日の早朝にゴミ拾いをするといった光景を地域住民が目にすることによって、美化意識の高まりとロータリークラブのイメージ向上に繋がります。



2022年4月3日清掃活動

## 館林東ロータリークラブ

## 鳥で地球温暖化問題の危機を知る

## プロジェクト

館林市野鳥の森 給餌給水作業

## 目的

現在、世界的に問題とされている「地球温暖化」と「鳥」の関係を調べていくうちに、野鳥を守ることはすなわち生態系を維持することにつながると考えました。

## 対象（受益者）

館林市に飛来するすべての野鳥

参加者 館林東ロータリークラブ会員7名

費用 約10,000円

実施時期 2023年2月

## 活動内容

英国の王立自然保護協会（RSPB）は、気候変動が既に自然を変えてしまっており、鳥は地球温暖化の隠れた犠牲者であり、気候の変化に伴い、生物は新たな環境条件の影響を受け、それに対応していかなければならないと報告しています。

もし世界の気温が今より摂氏3度上がると、欧州で繁殖する鳥が生息できる地域は今世紀末までに550キロメートル北に移動すると推測されるそうです。気候変動だけで鳥たちは繁殖地の20%を失う可能性があるそうです。

しかし先にも挙げましたRSPBの報告書には暗いニュースばかりが書かれていたわけではありません。「野生生物は適切な生息環境が十分にありさえすれば気候変動にも適応できる」とも書いてあり「野生生物に優しい広い場所の確保、管理の向上、既存の保護区の連結性、新しい陸上および海洋の保護区の設立」などを提唱しています。

私たちの活動拠点でもあります館林市です

が、『館林の野鳥』と言う写真集を見るとカケス、キジ、シジュウカラ、オオハクチョウなど30種類以上もの野鳥が館林市に飛来しています。

その生態系を維持するために、館林市野鳥の森市民協力会に所属する団体（館林RC・館林ミレニアムRCも所属）が持ち回りで行っている『野鳥の森給餌活動や園路清掃』は日本遺産「里沼」の一つである茂林寺沼の環境保護として当クラブも毎年奉仕活動を継続しております。

2023年2月は野鳥の森園路に数か所設置されております餌箱や水入れをきれいに掃除し、餌と水を補充する作業で、年間では下草刈りなど数回の活動を行っています。

このような地道な活動は自然保護、そして生態系の復元の一助となり、未来へと続く豊かな野鳥の森づくりのために、地球温暖化や環境問題を考え、私たちができることとして継続して活動していくことが重要だと思います。

野鳥の森の環境保護にたずさわること、会員の協調性と奉仕活動の意識を高め、今後も一人一人がリーダーとして地域に密着した奉仕を考え、それを実行して行けるよう努力して行きたいと思います。

## 活動の成果

給餌給水作業の後すぐに鳥が餌を食べにやってきました。鳥は植物、虫、小動物など、地域の生態系ピラミッドの上位に位置する「生命の循環のシンボル」ともいわれているようですので、鳥が来るということは、つまり地域の生命が循環し、生態系が健やかになることを示しているのではないかと感じました。



## 館林ミレニアムロータリークラブ

## 多々良沼清掃活動

## プロジェクト

沼と語る～多々良沼清掃活動

## 目的

日本遺産「実りの沼～多々良沼」へ訪れる多くの人々が気持ちよく多々良沼の自然を楽しむために沼周辺の清掃活動を行っている。

## 対象（受益者）

多々良沼を訪れる市民・観光客

参加者 ロータリアン・家族 30名

費用 3,000円

実施時期 2023年2月5日

## 活動内容

館林ミレニアムロータリークラブは2000年に創設され、クラブの歩むべき奉仕を模索しながら活動を続けてきた。2003年から「沼と語る」と題して、早朝に自然の中を歩くことで会員の健康増進と自然環境保全を目的として市内の沼周辺の清掃活動を始めた。

当初は多々良沼、城沼、茂林寺沼の3つの沼の清掃を行ったが、会員が一堂に会する機会を得ることが難しいため、2005年より富士山、浅間山、赤城山を望める、夕陽のきれいに見える小径、四季を通じて野鳥を楽しめる多々良沼の清掃活動を続けてきた。

休日の午前7時半に多々良沼の駐車場に会員と会員家族で集合。大人には大きなゴミ袋と軍手、火バサミをそれぞれ渡し、1時間超の時間で沼周辺に三々五々に広がりゴミの収集を行った。

ゴミの種類は飲料用の大小のビン、ペットボトル、たばこの吸い殻、食品の包装袋、さらには電化製品など生活用品等、そのゴミの種類には集まった会員は驚くばかりでもあった。なぜ

ここにこんなゴミが捨てられているのかということから…モラルの重要性も痛感してしまう。

また大人の男性が多くいることにより、簡単には移動できないような遺棄された大きな粗大ゴミも数人で協力してその場から移動することもできる。さらには危険物に類するようなものも注意して収集してきた。

約1時間超の収集作業の後に集合場所に戻り今度はゴミの分別（粗大ごみ・可燃物、ビン・ガラス製品、ペットボトル、プラスチックごみ等）を行なった。

収集後に分別されたゴミ袋の数は例年20袋以上にもおおよび、会員の軽トラックの荷台がいっぱいになってしまうほどのゴミ袋となってしまう、最終的に会員でごみ処分場に持ち込む。

会員の胸の内には「訪れる人たちが『ゴミを捨てることなく持ち帰る』ことを心掛ければ、こんなにたくさんのゴミは出ないだろうな」という考えが、ゴミ収集後のミーティングの中でも話に出てくる。

## 活動の成果

ロータリーマークの付いたジャンパーを着用しているが、時に地元の人たちから「ご苦労さま！お疲れさま！」というお言葉をいただき、さらに「どちらの団体でしょうか？」ということ聞かれることもある。「館林ミレニアムロータリークラブです。多々良沼の清掃を行っています」と伝えれば「朝早くからお疲れさま」と労いの言葉をいただけることもある。「ロータリアンであってよかった」と声なき声でつぶやく一瞬でもある。







## 第五分区

渋川ロータリークラブ  
沼田ロータリークラブ  
中之条ロータリークラブ  
草津温泉ロータリークラブ  
沼田中央ロータリークラブ  
渋川みどりロータリークラブ





## 渋川ロータリークラブ

# 卓話を通して環境への理解を深める

### プロジェクト

渋川ロータリークラブ会員への環境に対する知識の啓発

### 目的

渋川市における環境対策の具体例の把握によって会員の環境への知識の啓発を深める。

**対象** 渋川ロータリークラブ

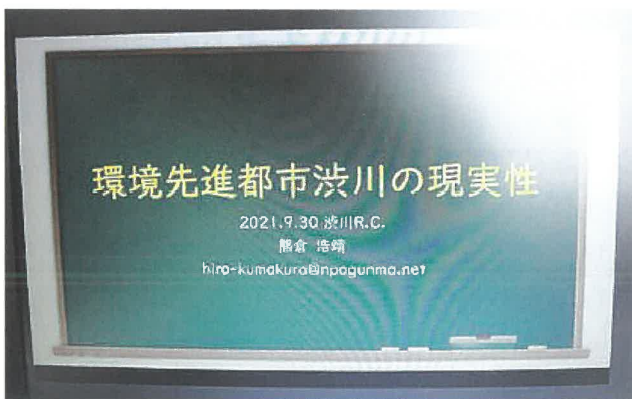
**参加者** 渋川ロータリークラブ会員

**費用** なし

**実施時期** 2021年7月～12月

### 活動内容・活動の成果

2021年7月～12月にかけてNPOぐんま代表理事「熊倉浩靖」様に「しぶかわ学」とも言うべき内容について計5回卓話講演をしていただきました。内容は渋川市の特性を活かして渋川市の発展を目指す、というものです。渋川市の恵まれた点、逆に渋川市に足りていない点も合わせたお話を聞かせていただきました。中でも、第2回目の講演テーマが「環境先進都市渋川の現実性」というもので、直接SDGsに向けた取り組みに関するものでした。SDGsのパネル6,7,12,13のテーマに則して具体的なアイデアを提案していただきました。講演を聞いたことで環境についての多くの学びと気づきを得られたと思います。環境意識が高まったことで、持続できる無理のない環境への配慮については各会員が日々の生活の中で続けることができます。



沼田ロータリークラブ

ぐんま県境トレイル 登山ルート奉仕活動

プロジェクト

ぐんま県境稜線トレイルに点在する避難小屋の緊急用品の設置及び避難小屋床の補修清掃活動

目的

ぐんま県境稜線トレイル最大の難所であるムジナ平の避難小屋ほかの4か所の小屋に怪我人等を搬送するストレッチャーを設置。小屋の床の補修及び清掃活動・登山ルートのごみ拾い活動。

対象(受益者)

谷川岳を訪れる方

参加者	社会奉仕委員会	10名
	山岳ガイド	2名
	米山学友	2名
	肩の小屋ガイド	1名
	沼田ロータリークラブ	32名

費用 514,000円  
(地区補助金及び委員会事業費より)

実施時期

2021年5月16日、22~23日、30日の3回

活動内容

沼田ロータリークラブ2020-21年度地区補助金事業としてぐんま県境稜線トレイルに点在する避難小屋の緊急用品の設置及び避難小屋床の補修を行う事といたしました。2020年秋までに事業の完了を予定しておりましたが、新型コロナの蔓延に伴い実施が大幅に遅れる事となりました。その間、数回に渡る群馬県、みなかみ町と協議の結果、設置する緊急用品の設置場所や品目の見直し要請等ありましたが下記の通り実施できました。

- 1) 設置する避難小屋 4ヶ所  
※怪我人等を搬送するストレッチャーを肩の小屋、平標小屋、ぐんま県境稜線トレイル最大の難所であるムジナ平の避難小屋に設置。
- 2) 避難小屋の床の補修及び山岳ルートの清掃活動

活動の成果

年間多くの登山者が訪れる谷川岳での清掃活動により、彼らが登山ルートにごみを持ち出さなくなり意識の向上に繋がっているように見受けられる。

ロータリークラブという組織が協力いただいた自治体の方々や関係者などに対して公共イメージの向上に繋がった。



## 中之条ロータリークラブ

# 植樹で自然環境保護への啓発

### プロジェクト

記念植樹

### 目的

管内の自治体と連携し、中之条ロータリークラブとして、記念植樹を行い、ロータリークラブの社会奉仕活動を告知するとともに、自然環境保護の啓発を目的とする。

### 対象（受益者）

管内住民（吾妻郡東部）

### 参加者

中之条ロータリークラブ 全員

### 費用

1回あたり100,000円  
のべ29回 概算2,900,000円

### 実施時期

毎年春頃

### 活動内容

1988年から植樹に取り組んでいます。2018年には、中之条クラブ創立50周年記念事業で、第5分区の皆様にも、たいへんご支援いただき、中之条ガーデンズにオオヤマザクラの植樹をさせていただきました。ここ数年植樹はできていませんが、また再開していきたいと思っています。

### 活動の成果

現在までに29回実施させていただき、各自治体からの要望場所に植樹をおこなってきました。公園であったり、福祉施設であったりして、利用者の憩いの場にまさに花を添えています。また同時に、自然環境が日常生活に欠くことのできないものと再認識いただいているところであり、当該啓発事業として、効果をあげています。



## 中之条ロータリークラブ

# 神社境内の自然を守ろう

### プロジェクト

神社境内の自然を守ろう

### 目的

管内の神社と連携し、中之条ロータリークラブとして、境内の自然環境保護を行い、近隣住民の身近な自然環境を保護する。

### 対象（受益者）

管内神社（吾妻郡東部）

**参加者** 中之条ロータリークラブ 有志

**費用** 10,000円

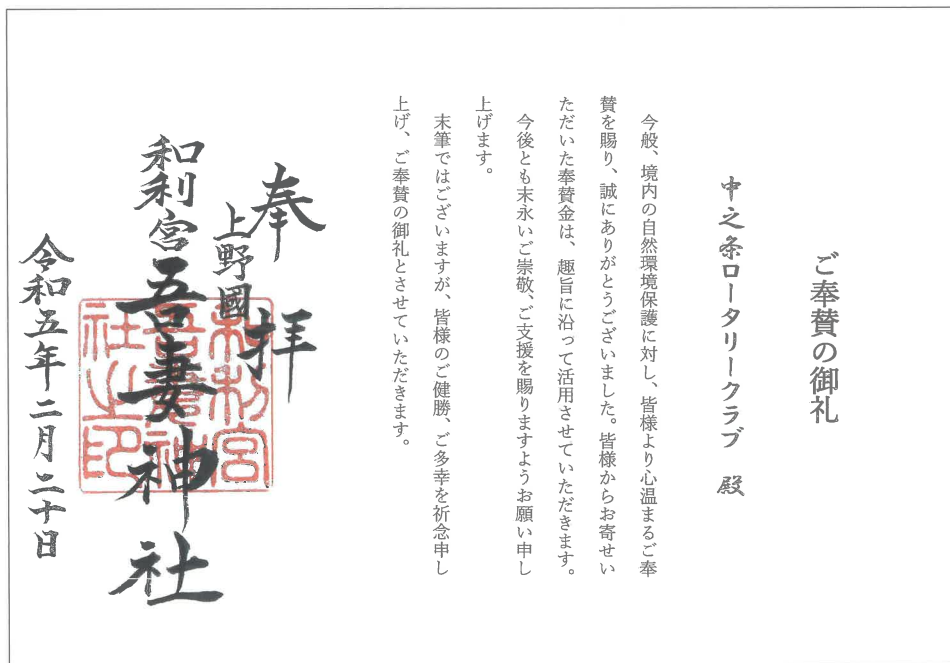
**実施時期** 毎年春頃

### 活動内容

今年度が初の試みとして、神社の境内の自然環境保護ということで、中之条町の吾妻神社に寄付を行いました。地域の方々の身近な自然環境である神社境内の自然環境保護をする一助になればと思っています。いつまでも、近隣の方が、境内の御神木をはじめ動植物から癒され、励まされ、勇気をいただけることにつながると思います。

### 活動の成果

御朱印つきの令状をいただき、ホームページに掲載するとともに、例会場に掲示し、内外に環境に取り組む姿勢を示し、ロータリアンへの活動の動機づけにつながっています。



## 中之条ロータリークラブ

# ごみ拾いで生活環境を守ろう

### プロジェクト

ごみ拾いで生活環境を守ろう

### 目的

街の観光スポットである「中之条ガーデンズ」周辺のごみ拾いを実施し、地域の観光産業への後押しを図るとともに、地域住民への啓発活動とする。

### 対象

中之条ガーデンズ

### 参加者

中之条ロータリークラブ 全員

### 費用

10,000円

### 実施時期

毎年春頃

### 活動内容

今年度が初の試みとして、街の観光スポットである「中之条ガーデンズ」周辺のごみ拾いを実施しました（4月11日）。観光客に対し、観光地にふさわしいキレイな街づくりに貢献し、リピーターの確保に努めるとともに、地域のモデルとして、キレイな街づくりを全域に広める啓発活動に繋げる。





## 沼田中央ロータリークラブ

# 尾瀬ヶ原の清掃活動

### プロジェクト

尾瀬クリーンハイキング

### 目的

国の特別天然記念物「尾瀬国立公園」の清掃美化活動

### 対象（受益者）

尾瀬国立公園を訪れる国内外の観光客及び地域社会

**参加者** ロータリアン・家族 17名

**費用** 92,930円  
(尾瀬ヶ原までの移動費(バス代金))

**実施時期** 2022年6月11日

### 活動内容

国の特別天然記念物「尾瀬国立公園」は当クラブの所在する沼田・利根地域にとりまして、地域の魅力を発信する過程で欠かすことのできない大きな役割を果たしております。

尾瀬の最大の魅力は、尾瀬ヶ原に代表される湿原の美しさです。周りを囲む山々、池、沼のほか、尾瀬に咲き誇る「水芭蕉」は、多くの人々を魅了しており、その規模は国内に留まらず、海外からも多くの観光客が訪れ、美しい自然を満喫しております。

沼田中央ロータリークラブでは、地元が誇るこの「尾瀬国立公園」を、美しい自然のまま後世に残したいという思いのなか、奉仕活動としてゴミ拾いを行いました。

### 活動の成果

意図的に捨てられたゴミは見当たらなかったものの、軍手やマスク、雨具の袋等の落し物があり、それらは意図せずに「ゴミ」となります。自分自身の持ち物にも一層の気配りが必要だと、視野が広がった非常に有意義な一日となりました。この奉仕活動を通じ、地域の魅力を再発見しつつ、その保全の大切さ・難しさを体感することができたと思います。



## 渋川みどりロータリークラブ

# 環境問題の原因と現状～僕たち私たちにできること～

### プロジェクト

第22回中学生意見交換会

### 目的

環境問題についての奉仕活動を考え、次世代を担う中学生に自分たちに何が出来るかどのようにしたら健康的で良い生活環境ができるかを考えていく意見交換会を開催した。

### 対象（受益者）

渋川広域圏11中学校各校5～7人  
中学校長・担当教諭・保護者

### 参加者

渋川みどりロータリークラブ会員  
20名・中学生41人・その他24人  
合計85人

### 費用

約274,000円

### 実施時期

2022年12月4日（日）

### 活動内容・活動の成果

1999年より実施している当クラブの代表的な奉仕活動のひとつ「中学生意見交換会」のテーマとして環境問題を取り上げ、5大環境問題の中で海洋汚染であるプラスチック問題や水質汚染の生活排水などについて、自分たちが今

から何が出来るかグループ討議した。最初に元群馬県地球温暖化防止活動推進センター長・群馬県環境アドバイザー中島啓治様、群馬県環境アドバイザー代表西村豊様による「環境問題の原因と現状～僕たち私たちにできること～」と題してご講演いただきました。その後、8校41人が5つのグループに分かれ、実際にどの程度水が汚れているのかを数種のサンプルと試験紙を使用しての実験を行いました。そして、クラブ員が各テーブルのサポートを行いながら中学生の意見をまとめ、グループごとにそのテーブルの代表者が結果と考察の発表を行いました。参加した中学生は自分たちの日々の生活にどれだけ多くの水が必要なのか、その水がどのようにして供給されていて、その水をつくるのがどれだけ大変か理解することができました。また、プラスチックごみによる海洋汚染についても、様々な意見が活発に出され、今後は安心安全なきれいな水を守っていくために自分たちがやらなければならないことを意識する良い機会になったと思います。

後日この意見交換会の様子をDVDにして、参加いただいた各校、参加できなかった学校にも配布しました。このDVDを活用していただき当日参加できなかったすべての中学生達にも同じような意識を持って環境問題に取り組んでもらえることと信じています。



## 第五分区合同事業

# 伊香保石段街の清掃活動

### プロジェクト

第5分区会員による伊香保石段街の清掃活動  
(主管クラブ：渋川ロータリークラブ)

### 目的

伊香保温泉の石段街の清掃と第5分区会員で  
行い、地域の生活環境完全へ貢献する。

**参加者** 第5分区会員

### 対象(受益者)

伊香保石段街清掃については地域の人々と伊  
香保への観光客の方たち

**費用** 清掃活動についてはゴミ袋代等

**実施時期** 清掃活動は2019年6月16日

### 活動内容・活動の成果

2019年6月16日に、第5分区の会員が集まり、国際ロータリーデーの行事の一環として、伊香保石段街の清掃活動を行いました。高低差のある石段で行ったゴミ拾いや雑草取りは、わずかかもしれませんが伊香保の生活環境改善への貢献になりました。観光客の方がいる中で会員が汗を流す姿はロータリーのイメージ向上にも繋がったと思います。ちなみに、内容は上毛新聞で取り上げられています。

★第五分区 ロータリーデー

2019年6月16日(日)13:30~14:00  
伊香保石段街清掃



6月25日の上毛新聞に掲載されました



## 第六分区

富岡ロータリークラブ  
藤岡ロータリークラブ  
安中ロータリークラブ  
藤岡北ロータリークラブ  
富岡中央ロータリークラブ  
碓氷安中ロータリークラブ  
藤岡南ロータリークラブ  
富岡かぶらロータリークラブ



## 富岡ロータリークラブ

# 職員数の少ない公共施設庭園の清掃

### プロジェクト

富岡市社会教育館庭園清掃作業

### 目的

同館は、市民の使用頻度が高い会館であるが、職員数が不十分で庭園清掃まで手が回らない為、支援活動を行った。

### 対象（受益者）

施設及び利用者

**参加者** 27名

**費用** 0円

**実施時期** 2017年6月7日午前9時から  
11時まで

### 活動内容

参加者は、当クラブ会員のみ。会長挨拶の後すぐに作業に入った。清掃道具は、持参した鎌、草削り、高箒等及び施設のごみ取り、のこぎり、箒、リヤカー等。持ち場を5カ所に分けて作業開始。まだ6月始めの為か、草が伸び過ぎていないのが幸いで順調に進んだが、かなり雑木が有り、下枝の切断は、手間が掛かった。作業終了後の後片付けが、刈った草の置き場、切り取った木片の置き場、不燃物の置き場等、分別処理で時間を要した。広い庭で裏庭は手つかずのまま。しかし表庭は半分少々を終えることができた。



## 藤岡ロータリークラブ

## 環境保全と観光振興に資する植栽活動

## プロジェクト

藤岡市管内桜苗木100本植樹事業

## 目的

冬桜を中心に藤岡市内の桜山公園に桜の苗木100本を植樹する事より、環境の保全と観光名所でもある同公園の景観の維持発展に寄与。

## 対象（受益者）

地域住民、公園来園者、藤岡市観光協会など

参加者 藤岡ロータリークラブ会員全員

費用 約500,000円

実施時期 2023年3月4日（土）

## 活動内容

「上毛かるた」三波石とともに名高い冬桜でお馴染みの冬桜ですが、私たち藤岡ロータリークラブではこの冬桜を中心に桜の苗を100本植樹してまいりました。

植樹の場所は旧鬼石町三波川地区の桜山公園です。ここ桜山公園は冬と春の2度花をつける冬桜が約7,000本あり国の名勝及び天然記念物にも指定されています。また、冬桜以外にもソメイヨシノやツツジ、ロウバイ、福寿草など、一年をとおして花と自然を満喫できる施設となっています。また、園内の日本庭園は、御荷鉾の山々を背景に1,500トンもの三波石を用いて大きな池と清流を組み合わせた本格的な池泉回遊式庭園で、桜山への登山口でもあり公園全体のシンボルにもなっています。特に秋には



木々が色とりどりに紅葉し庭園を艶やかに染め冬桜の開花時期とも重なると見事な景観が堪能できます。

紅葉の季節のライトアップや、冬の桜の季節のイベント開催などもあり、地元の方だけでなく県内外から多くの方が足を運び賑わいます。

しかし、近年多くの冬桜が樹勢に衰えも見え、また病気や害虫、害獣の被害も深刻な問題となっていました。このようなことも踏まえ、私たち藤岡ロータリークラブでは苗木の植樹を通し地元の自然と観光資源を応援しようとの思いで今回の事業を行うこととしました。また、1973年の山火事で多くの桜が焼失した際には、復旧にあたり我々の先輩である当時の藤岡ロータリークラブから300本のソメイヨシノが寄贈され植栽されました。そういったことも踏まえながら、今回私たちは奉仕の心を強く持ちこの活動に取り組みました。

植樹の場所は急斜面も多くすべて手作業で1本1本丁寧に気持ちを込めて行いました。

## 活動の成果

今回の植樹にあたり、自然の保全や地元の賑わいなどについて会員それぞれ想いを馳せることができました。また、コロナ禍でまだまだ制約も多い中、野外での活動で会員同士の懇親が図られたのも素晴らしいことだと感じました。

今回の活動を通じ環境保全の成果でもある桜の苗木たちがやがて未来に向け育ち、見事な花を咲かせることを想像すると嬉しい気持ちが沸き起こります。将来、子、孫の時代に咲かせた桜はきっと多くの人を集め楽しませることでしょう。



## 安中ロータリークラブ

# 新しい奉仕・環境問題への取り組み

### プロジェクト

安中市ロータリークラブ 奉仕プロジェクト委員会

### 目的

環境ボランティアについて学び、実践を行う為の勉強会

### 対象

安中ロータリークラブ・碓井安中ロータリークラブ・安中青年会議所  
碓井安中ライオンズクラブ・松井田ライオンズクラブ  
新島学園中学高等学校インターアクト部

### 参加者

42名

### 費用

56,900円

### 実施時期

2023年2月21日

### 活動内容

今年度の安中ロータリークラブのスローガンは『新しい奉仕の心を持って』ということで環境をテーマに活動することになりました。今迄の奉仕活動は、ゴミ拾いが多く単発で終わってしまい、継続して行える環境奉仕活動が出来ませんでした。例会で今後の奉仕活動について意見を出し合っても、なかなか良い案が出ませんでした。

日を改めて会長・幹事を中心に数人の理事が集まり話し合いを行い、まず環境について学ば

うという事になり群馬県環境森林部 環境政策課 補佐（環境政策係長）小野里 明様を招いて講演会を行う事にしました。

又、安中市全体を考え、岩井均安中市長・伊藤清県議会委員・地域団体であるライオンズクラブ・青年会議所・新島学園インターアクト部もお誘いし勉強会を行いました。

### 活動の成果

#### \*環境学習

環境について学ぶ目的・環境学習の必要性・意識が先か？行動が先か？

#### \*県内各種団体の取り組み事例

- ①単独企業・学校・団体が行う事業  
前橋桂萱中：ココアの制服リユース  
牛伏梅林友の会：耕作放棄地を梅林として活用
- ②環境アドバイザーが行う事業及び講師として活用する事業  
井野川の水生物の調査・観察会  
石田川みんなで再開発プロジェクト  
中学生意見交換会
- ③異なる主体が連携・協働して行う事業  
山田川にホテルを呼び戻す会  
秋間梅林エコ循環100年プロジェクト
- ④環境問題への取り組みキーワード  
自主的な取り組みが出来る人を育てる  
連携・協働する事  
楽しみながら取り組もう！心と人生を豊かにしよう！

結果 継続可能な社会づくり（SDGs）への奉仕につながる





## 藤岡北ロータリークラブ

## 知っているようで知らない「水」のお話

## プロジェクト

環境問題を考えるワークショップセミナー実施

## 目的

自分達を使う「水」、使える『水』はどれくらいあるのか？当たり前のように使っている水について考え、限りある資源の大切さを学ぶ。

## 対象（受益者）

ワークショップセミナー参加した地域住民等30名

**参加者** 15名（会員夫人を含む）

**費用** 地区補助金 約65,000円  
クラブ拠出金 約70,000円

**実施時期** 2022年11月

## 活動内容

環境問題について継続的に取り組んでいるなかで、今回は「自分達を使う水、使える水は？」「使った水は、どうしたらきれいに出来るのか？」について、地域住民とともに考えるワークショップセミナーを実施しました。講師には、40年以上「水」に関する事業に携わり、日々環境問題に取り組んでいる当クラブの畑元会員がボランティアで協力してくれました。「水」の問題は、様々なことに影響を及ぼし、非常に大きな問題であるとの認識を深めました。「地元」や「群馬」、「関東」、「日本」だけの問題でなく、広くグローバルに共通の問題意識、あるいは危機意識と言い換えても過言ではない状況になっていることを考えて行動しなくてはならないと強く感じました。地球上に存在する水は、13億3800万km<sup>3</sup>でそのうち97.5%は海水であり、利用しやすい河川・湖沼はわずか0.01%の約

14万km<sup>3</sup>です。地球を直径90cmのバランスボールに例えると、利用しやすい河川・湖沼の水は、40mlのショットグラスしかないそうです。一方で、一人が一日に使う水の量は、毎日200～300ℓにも及ぶとされています。内訳は、トイレ28%、風呂24%、炊事23%、洗濯17%などです。日本では、蛇口をひねれば安全な水が使えますが、世界では水道があっても飲み水としては利用できない、汚れていて衛生上身体に危険を及ぼすなどの状況に陥っている国もあります。2019年現在、世界では22億人が安全な水を確保できていないと言われ、42億人が安全に管理された衛生施設を使うことができていません。不衛生な飲み水であってもそれを確保するために池や川へ水汲みに行くのは、多くの場合女性や子どもたちです。本当は学校に通い、勉強したいという気持ちはあるが、水汲みのせいで学校に通えない子どもも少なくありません。きれいな水が飲めないということは、衛生面でも教育面でも重大な問題となっている事を知りました。当日は、地元の上武大学で学んでいるベトナムからの留学生の協力を得ることも出来て、大変有意義なセミナーとなりました。

## 活動の成果

水が豊かにあると思われている日本ですが、このまま水の無駄使いを続ければ深刻な水不足問題に直面します。自分には関係ないことだと思わず、より豊かな暮らしができる環境を作っていくためにも、私たち一人一人が水を大切にす啓発活動となったと思います。



## 富岡中央ロータリークラブ

## 持続可能な地域環境保全

## プロジェクト

世界遺産と大塩湖畔の清掃活動

## 目的

地元の世界遺産や観光名所の清掃を行い、環境美化に貢献すること。

## 対象（受益者）

富岡市民・下仁田町民及び観光客

参加者 クラブ会員25名

費用 3,000円

実施時期 各1時間

## 活動内容

当クラブでは、2009年から2017年まで農業用水として利用されている丹生湖の水環境保全プロジェクトに取り組んできましたが、丹生湖の水漏れが見つかり国土交通省よりのお達しで、水抜きをして10年かけて修理を行うことが決まった為にこのプロジェクトは一時中止となりました。しかし、このプロジェクトを通して協力体制のできた地域団体との絆は強く、丹生湖でのお祭りなどの行事に協賛し、参加しています。

地元大塩湖はボートに乗りながらお花見をしたり、富岡市周辺の市や町の飲料水として利用されている身近な観光名所です。丹生湖水環境保全プロジェクトが一時中止となりましたので、

2022年からこの大塩湖畔の清掃活動を始めました。清掃活動を行ってみるとビニール袋・ペットボトル・空き缶・釣り糸などのゴミが多く、今年3月のゴミ拾いでは30キログラムのゴミを拾い集めました。海洋ゴミは他人事ではないと思います。一方、当クラブの地区には富岡製糸場・荒船風穴と世界遺産が2か所ありこちらも毎年清掃活動を実施しています。特に今年度はR財団地区補助金を利用して荒船風穴に環境にやさしい地産材で作成したテーブルとイスを寄進し、除草作業を行い見学者の憩いの場所の整備を行ってきました。世界遺産を訪れた皆さんが気持ちよく見学されたり、休憩される場所の環境美化活動に努めております。

また、吉本興業所属の群馬住みます芸人アンカンミンカン富所哲平様によるSDGsの勉強会を2020年12月と2023年2月に実施し、「一人の百歩よりみんなの一步、SDGsをもっと身近に」などのお話を伺い、会員一同が持続可能な開発目標に対する意識を高めました。また、富岡市市庁舎にSDGs掲示板を寄贈し来庁者や市民にSDGsの活動の広報を行っております。

## 活動の成果

実際に清掃活動することにより、いかに多くのゴミが捨てられているか環境にも悪影響を及ぼしているかを実感しました。同時に訪れる人々の憩いの場である世界遺産や観光名所の美しい景観を守る一助になれるよう今後とも継続して取り組んでいきます。



## 碓氷安中ロータリークラブ

# 「侍マラソン」を盛り上げ、安中杉並木をきれいにしよう！

### プロジェクト

安中杉並木周辺の清掃活動

### 目的

仮装ランナーが走る「安政遠足侍マラソン」の開催前にマラソンコース上の安中杉並木周辺の清掃を行い環境保全と景観美化に努める。

### 対象（受益者）

市内外から参加するマラソンランナーおよび沿道の観衆

**参加者** 8名

**費用** 8,000円

**実施時期** 2023年5月

### 活動内容

仮装したランナーなどが市内の安中城址から碓氷峠まで2コースに分かれて走る「安政遠足（あんせいとおあし）侍マラソン」は、毎年5月の第2日曜日に開催されます。ランナーは安中城址をスタートして、旧中山道沿いの安中杉並木を通りゴールするまでの間、思い思いの仮

装をし、それぞれの持てる力とスピードで走っていきます。また、コース中の安中杉並木は我々クラブの例会場近くにあり、上毛かるたの読み札「中仙道しのお安中杉並木」で知られているように国の天然記念物となっています。

当クラブでは毎年侍マラソン開催時期の直前の例会で、沿道の観衆が特に多い安中杉並木周辺の下草などを刈り取り、周辺の環境保全と景観美化に資するよう清掃活動を行っています。

ランナーの方々には少しでもきれいなコースで走れるよう、また、沿道の観衆の皆さんにはきれいな杉並木で応援できるようにとの思いで清掃を行っています。本年は、5月11日（木）の例会において清掃活動を実施する予定です。

尚、写真は前年度に行った清掃例会のものを掲載しております。

### 活動の成果

目に見える成果があるかどうか、はっきりとは判りませんが、マラソンコース周辺の清掃を行いきれいにしておくことで、ゴミなどの置き忘れやポイ捨てなどが若干少なくなっているようです。周辺環境を少しでもきれいに保つことが景観美化につながっていると信じてこれからも活動を続けていきたいと思ひます。



藤岡南ロータリークラブ

# ヤリタナゴ・マツカサガイ・ホトケドジョウ保護調査活動

## プロジェクト

藤岡市指定天然記念物ヤリタナゴ等保護調査活動

## 目的

群馬県の基準で「絶滅危惧種1種」に分類されているヤリタナゴ等を保護する。

## 対象（受益者）

地域住民

**参加者** 20名

**費用** 346,334円

## 実施時期

- ・2013年12月6日例会  
藤岡市教育員会文化財保護課職員による、藤岡市指定天然記念物ヤリタナゴ等についての卓話
- ・2014年5月9日例会  
ヤリタナゴを守る会会長による、ヤリタナゴ等の生息状況等についての卓話
- ・ヤリタナゴ等が生息している水沼神社池の環境を整えるため、清掃活動を行うこととなりました。  
2014年12月21日水沼神社池のヤリタナゴ等の生物採集保護  
2015年1月17日水沼神社池の浚渫作業1回目  
2015年1月24日水沼神社池の浚渫作業2回目



2015年5月22日水沼神社看板設置



2015年5月24日水沼神社周辺  
ヤリタナゴ観察会

## 活動内容・活動の成果

群馬県の基準で、絶滅の危機に瀕している「絶滅危惧種1種」に分類され、県内では藤岡市のみで生息するヤリタナゴ等の保護調査活動を行いました。

まずは、2014年12月21日に水沼神社池の生物採集保護を行いました。池にはいろいろな魚や生物が生息していることが発見できました。池の脇の水路からもヤリタナゴを採集保護しました。ヤリタナゴ等生物を保護した後、池の排水作業を行いました。

次に、一年で一番寒い時期でしたが、2015年1月17日に水沼神社池の1回目の浚渫作業、そして、2015年1月24日に水沼神社池の2回目の浚渫作業を行いました。池の中にはかなりの泥が溜まっており、ユンボや一輪車でかなりの量の泥を取り除きました。泥は固く重く重労働でしたが、泥の中から池の主のような大きなナマズが現れたりして、楽しかったですね。手作業での泥撤去範囲もあり、会員一丸となって泥を撤去したことを覚えております。翌日、筋肉痛になった会員の報告も受けました。清掃後、池に水を入れて、保護していたヤリタナゴ等を池に放ちました。

そして、2015年5月22日に水沼神社池に看板を設置致しました。

2015年5月24日水沼神社周辺でヤリタナゴ観察会が開催されました。子どもたちも大勢参加して、ヤリタナゴが絶滅危惧種であることを理解してもらい、環境問題への取り組みについて考える良いきっかけとなりました。当日、メディアの方たちも来ていて、環境問題は世の中での関心の高いテーマだと改めて理解し、今後のロータリー活動に活かしていこうと思いました。



## 藤岡南ロータリークラブ

## 藤岡まつりエコステーション

## プロジェクト

地域貢献・環境保全事業

## 目的

藤岡まつりのゴミの回収・分別

## 対象（受益者）

藤岡まつりに訪れた観光客と地域住民

参加者 会員、高校生 約30人

費用 約5,000円

実施時期 毎年7月20日頃

## 活動内容・活動の成果

藤岡南ロータリークラブでは、地域貢献事業の一つとして、藤岡まつりエコステーションに協力しています。これは、毎年開催される藤岡まつりがきれいなお祭りとなるようゴミの回収・分別を目的とした事業です。2010年から毎年、我がクラブが支援している藤岡中央高校インターアクトクラブと共に、祭り会場となる中央商店街付近において、ゴミ拾いやゴミの分別活動に取り組んでいます。2016年からは万場高校の生徒たちにも参加してもらい、多くの子供たちがゴミ袋を片手に祭り会場で頑張っています。ここ3年程は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となっていますが、再開時には、また活動出来ればと思います。参加する高校生にとっては、地域貢献・環境保全のこの活動に参加することにより、郷土を愛する心を育み、青少年健全育成にも寄与できると考えます。





藤岡3ロータリークラブ合同事業

# 藤岡3ロータリークラブ合同清掃活動

## プロジェクト

藤岡3ロータリークラブ合同奉仕プロジェクト  
(主管クラブ：藤岡ロータリークラブ)

## 目的

“ららん藤岡”周辺歩道の清掃活動を行うことにより、環境の保全と景観の維持に寄与。

## 対象(受益者)

地域住民、観光客

## 参加者

43名  
 藤岡ロータリークラブ 29名  
 藤岡北ロータリークラブ 5名  
 藤岡南ロータリークラブ 9名

## 費用

ゴミ袋代1,000円

## 実施時期

2022年3月10日(木)  
 10:00~11:30

## 実施場所

ららん通り歩道、県道13号歩道

## 活動内容・活動の成果

2年以上にも及ぶコロナ禍の中、ロータリークラブとしての活動も難しくなっておりましたが、藤岡地域のために少しでも貢献できればと考え、藤岡3ロータリークラブ合同での奉仕プロジェクトを企画致しました。コロナ禍でも屋外の活動であれば安全に行えると考え、合同清掃活動を行いました。

一見するとゴミなど少ないように見えたが、市道ららん通り歩道は「たばこの吸い殻」が多く、藤岡インター入口近くの県道13号の歩道脇のくぼみには、草が茂っている時には隠れて見えませんが、空き缶やゴミなどが沢山落ちていましたので、一つ一つトングで拾いました。

## 活動の成果

藤岡RC、藤岡北RC、藤岡南RCのロータリアンが、清掃活動を通じて久しぶりに交流する良い機会ともなり、有意義な活動でありました。



## 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会



副委員長 佐藤 信一（前橋東RC）

多くのクラブが環境に問題に取り組み、活動されていることをこの事例集作成において実感いたしました。このようなすばらしい取り組みがさらに広まり増えていくことを切に思いました。



副委員長 湯澤 晃（前橋北RC）

校正作業の一部を担当させていただきました。石渡委員長を始めとした他の委員の皆様におんぶに抱っこで申し訳ございません。しかも自クラブの報告がまともにできず、忸怩たる思いです。一応、食材を扱う会員企業に廃棄予定の食材が発生した場合、その食材をサファリパーク等に寄付するという事業を今後計画実施したいという話が出ていることを報告いたします。



委員 淡島 信二（高崎セントラルRC）

第2840地区の各クラブ会員の方々の地域・社会ならびに海外での奉仕活動の様子に感銘を受け、今後の自分の奉仕活動の参考にさせて頂きたいと思えます。



委員 中金 俊行（藤岡RC）

この度、環境に関するクラブの奉仕活動を寄稿していただきましてそれぞれのクラブの特色によって、身近なものから国際的貢献まで本当に素晴らしい環境に関する奉仕活動があるものと実感し、感銘を受けました。本冊子が、皆様のクラブの今後の継続的な活動の参考となり、お役に立てただけを願います。



# クラブの環境に関する 奉仕活動事例集

国際ロータリー第2840地区 2022-2023年度  
職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会・編

---

発行者：国際ロータリー第2840地区  
2022-2023年度ガバナー 中野正美  
発行日：2023年6月14日  
印刷：朝日印刷工業株式会社

---